

地域福祉の推進に関する団体アンケート調査

調査報告書

岸和田市

目次

1	調査の概要.....	1
	（1）調査の目的.....	1
	（2）調査の対象・方法・期間.....	1
	（3）回収状況.....	1
	（4）報告書の見方.....	1
2	調査結果.....	2
	1）地区市民協議会.....	2
	2）民生委員・児童委員協議会.....	10
	3）地区福祉委員会.....	18
	4）ボランティア連絡会.....	26
	【参考】4 調査統合表.....	33

1 調査の概要

(1)調査の目的

第5次地域福祉計画を策定するにあたり、地域福祉の推進を日頃、実践されている担い手（団体）の意識を調査し、本市の地域福祉の推進に関わる課題を抽出するための検討資料を得ることを目的としている。

(2)調査の対象・方法・期間

対象	地区市民協議会、民生委員・児童委員協議会、地区福祉委員会、ボランティア連絡会
方法	各団体を通じた手渡し又は郵送による配布・回収
期間	令和3年7月7日～7月23日

(3)回収状況

	地区市民協議会	民生委員・児童委員協議会	地区福祉委員会	ボランティア連絡会
配布数	24件	304件	24件	49件
有効回収数	18件	262件	18件	30件
有効回収率	75.0%	86.1%	75.0%	61.2%

(4)報告書の見方

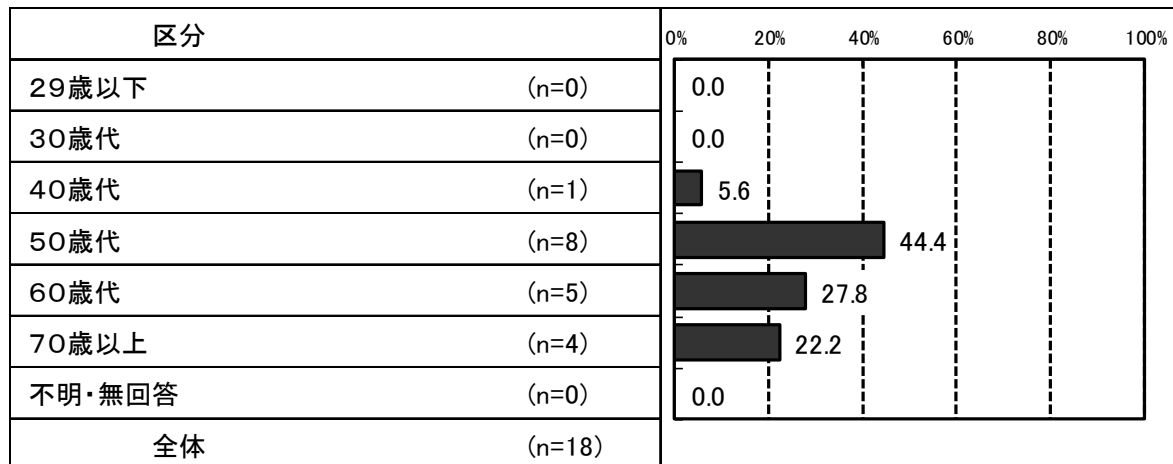
- 図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数。
- 結果数値は、小数点第2位を四捨五入しているため、単数回答であっても、合計値が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答の場合、選択肢毎に回答者数に対する割合を表示しているため、合計値が100.0%を超える場合がある。
- 集計結果は4つの調査種類ごとに掲載しているが、4つの調査結果を比較できるように、巻末に参考として4つの調査結果を1つにまとめた表を掲載している（【参考】4調査統合表）。ただし、配布数、回収数など異なるため比較する際は注意を要する。

2 調査結果

1)地区市民協議会

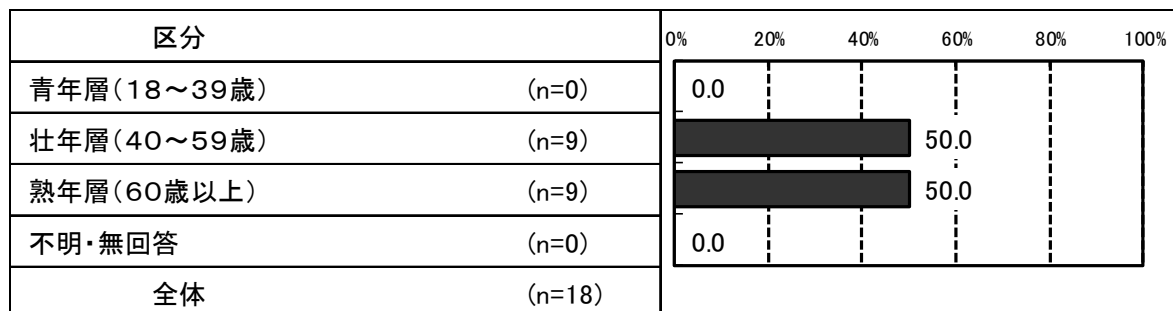
問 1_年齢(6区分)

「50歳代」が44.4%で最も多く、次いで「60歳代」が27.8%、「70歳以上」が22.2%となっている。



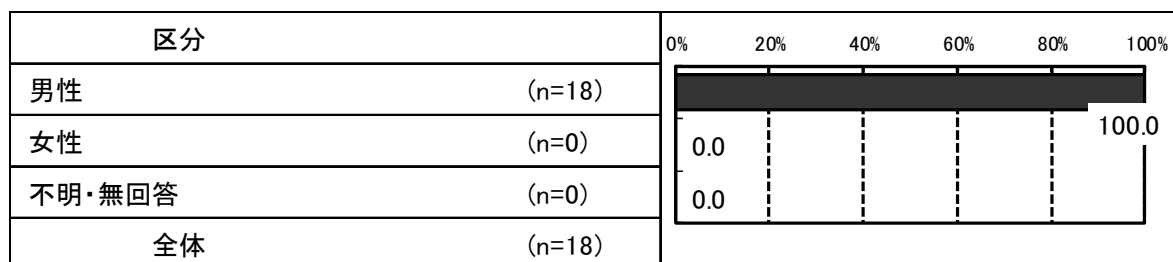
問 1_年齢(3区分)

「壮年層（40～59歳）」と「熟年層（60歳以上）」が、ともに50.0%となっている。



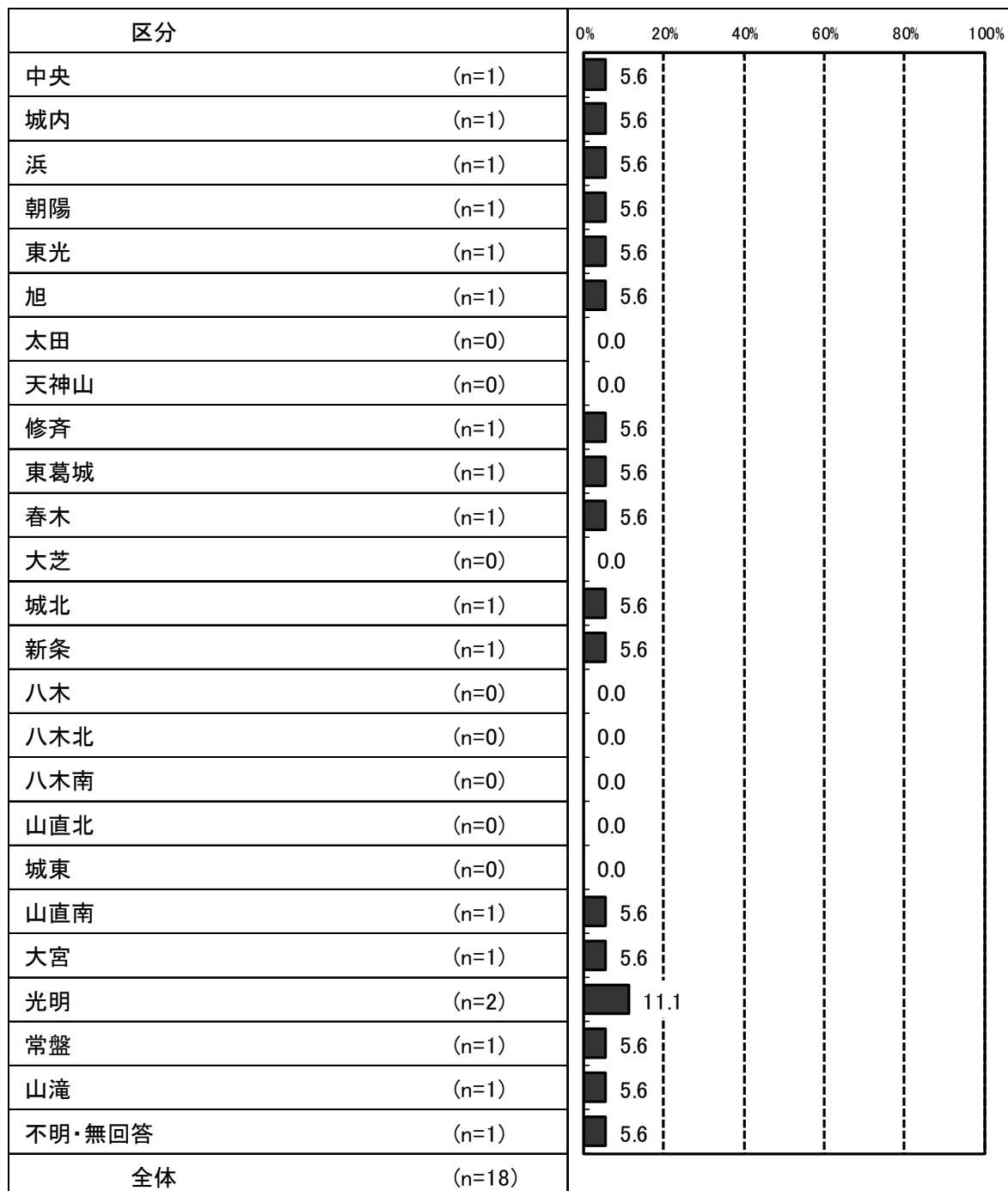
問 1_性別

「男性」が100.0%となっている。



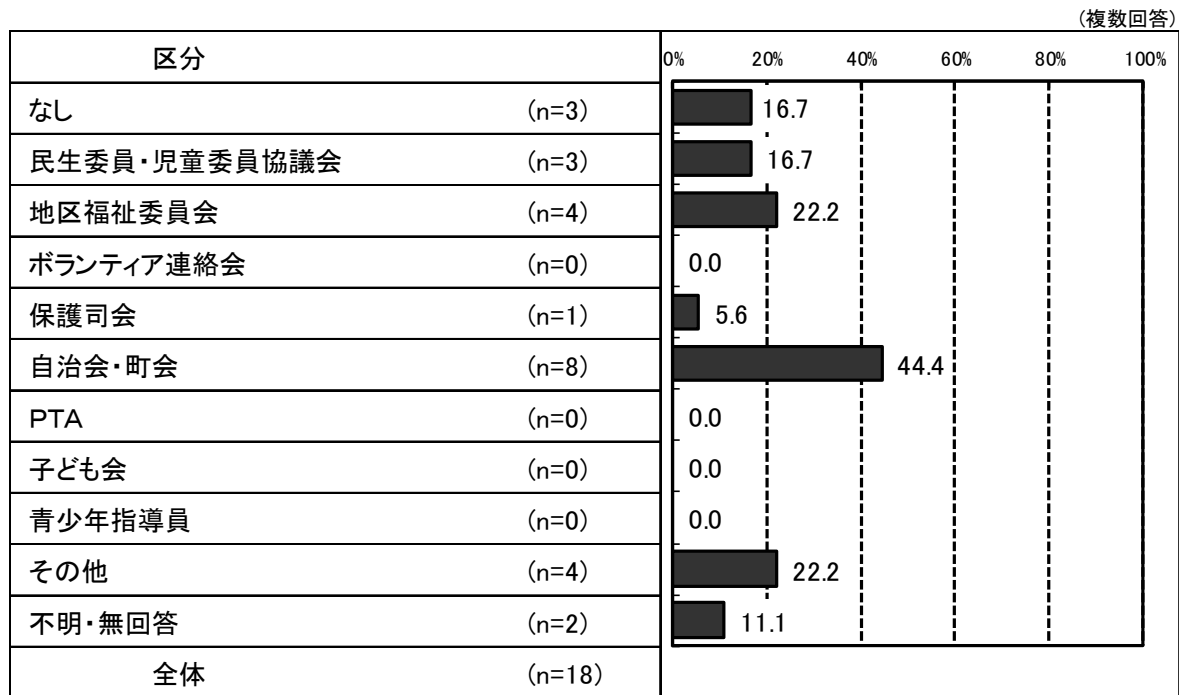
問 2_現在、主に活動している地区(小学校区)をお答えください

「光明」が11.1%で最も多く、次いで「中央」「城内」「浜」「朝陽」「東光」「旭」「修斉」「東葛城」「春木」「城北」「新条」「山直南」「大宮」「常盤」「山滝」がともに5.6%となっている。



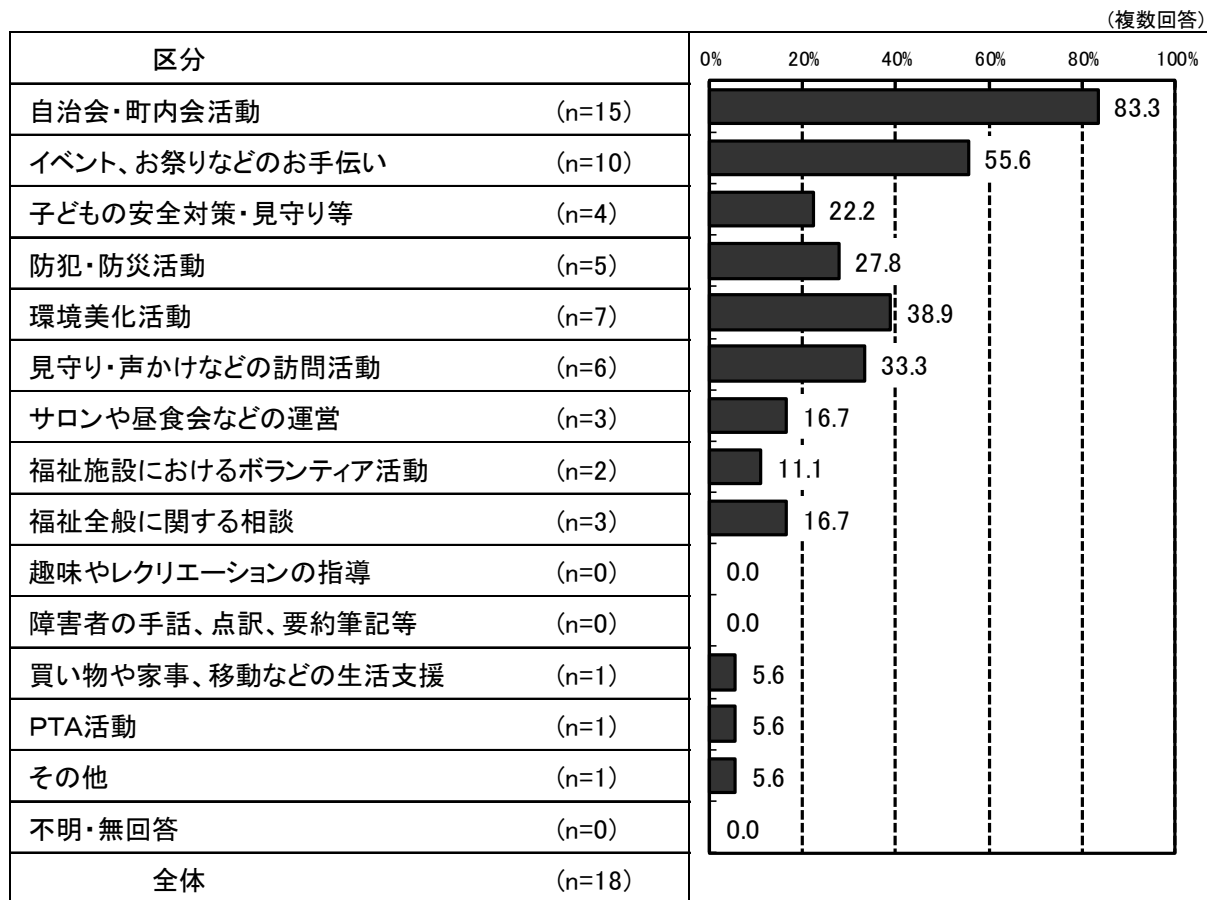
問 3_現在、他に活動されている所属団体があればお答えください

「自治会・町会」が 44.4%で最も多く、次いで「地区福祉委員会」と「その他」がともに 22.2%、「なし」と「民生委員・児童委員協議会」がともに 16.7%となっている。



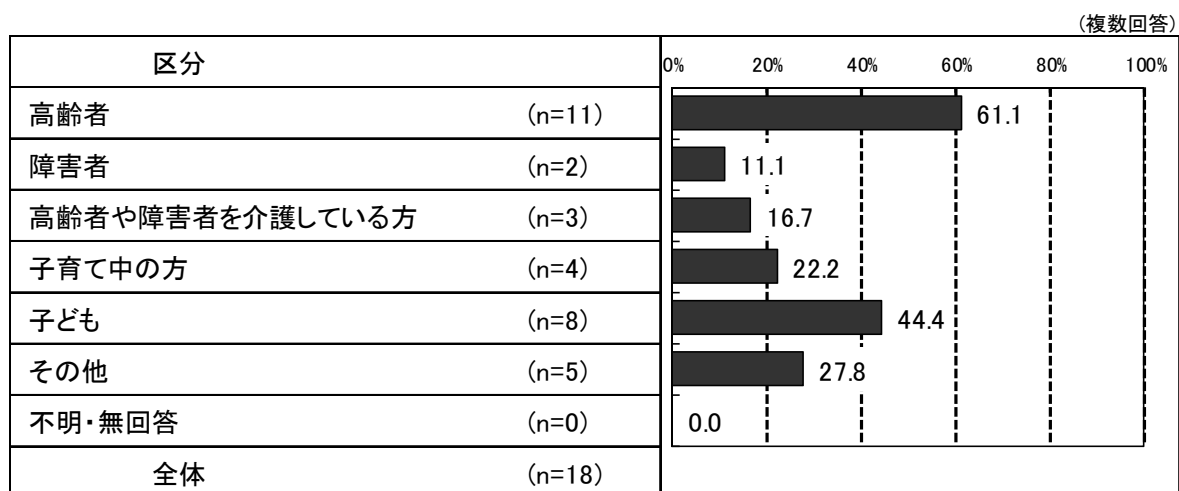
問 4_活動している分野は、何ですか

「自治会・町内会活動」が 83.3%で最も多く、次いで「イベント、お祭りなどのお手伝い」が 55.6%、「環境美化活動」が 38.9%となっている。



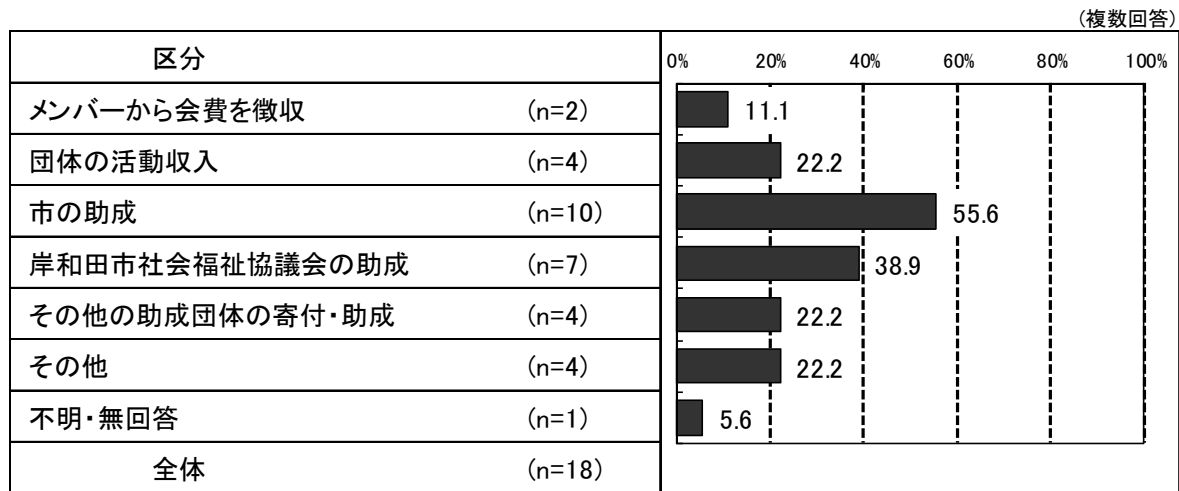
問 5_活動の対象者は、どんな方々ですか

「高齢者」が 61.1%で最も多く、次いで「子ども」が 44.4%、「その他」が 27.8%となっている。



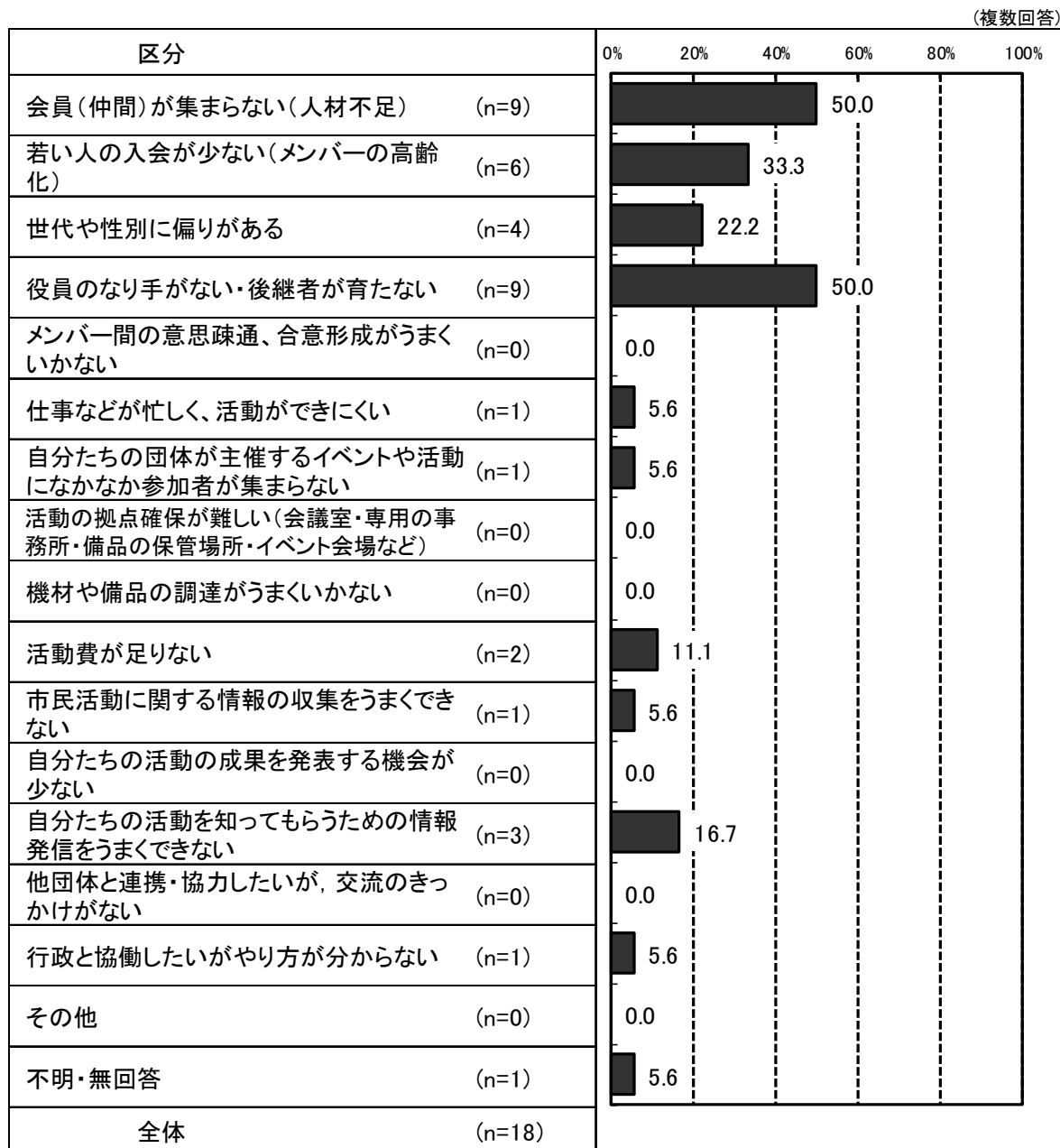
問 6_あなたの団体の活動財源について教えてください

「市の助成」が55.6%で最も多く、次いで「岸和田市社会福祉協議会の助成」が38.9%、「団体の活動収入」と「その他の助成団体の寄付・助成」と「その他」がともに22.2%となっている。



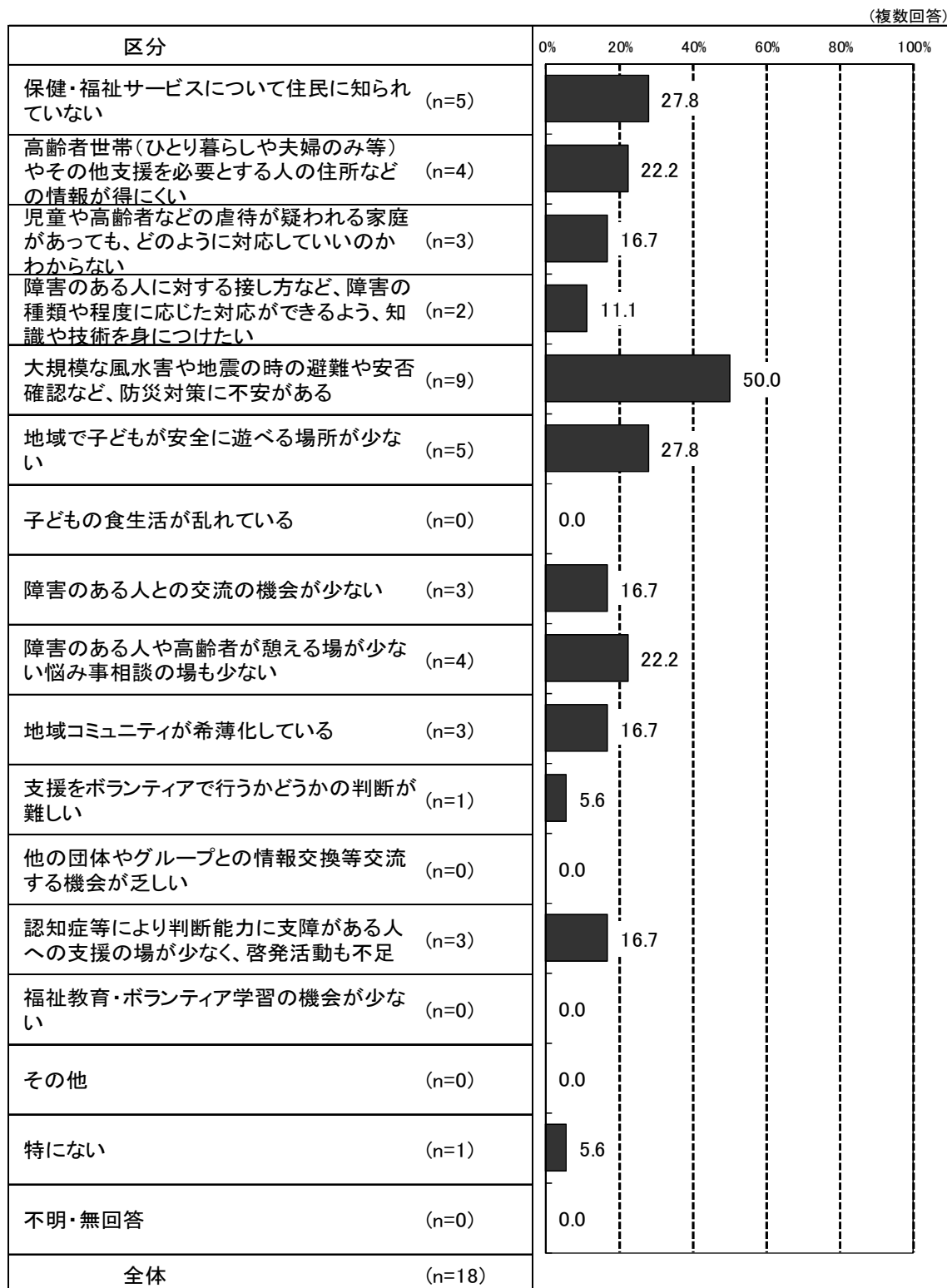
問 7_あなたの団体が活動する上で困っていることがありますか

「会員（仲間）が集まらない（人材不足）」と「役員のなり手がない・後継者が育たない」が、ともに 50.0%で最も多く、次いで「若い人の入会が少ない（メンバーの高齢化）」が 33.3%、「世代や性別に偏りがある」が 22.2%となっている。



問 8_地域で活動している中で、課題と感じていることがありますか

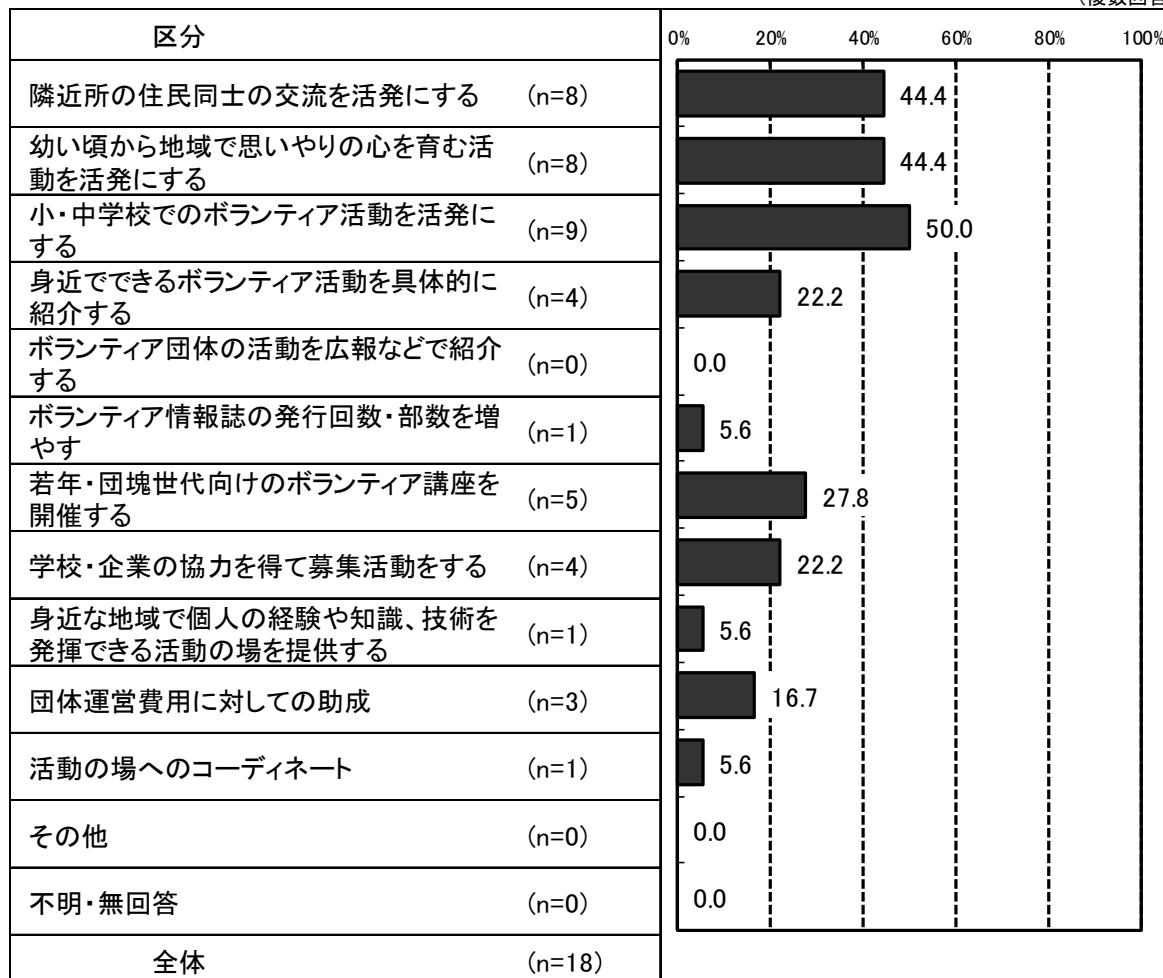
「大規模な風水害や地震の時の避難や安否確認など、防災対策に不安がある」が 50.0%で最も多く、次いで「保健・福祉サービスについて住民に知られていない」と「地域で子どもが安全に遊べる場所が少ない」がともに 27.8%、「高齢者世帯（ひとり暮らしや夫婦のみ等）やその他支援を必要とする人の住所などの情報が得にくい」と「障害のある人や高齢者が憩える場が少ない悩み事相談の場も少ない」がともに 22.2%となっている。



問 9_若い世代のボランティア活動を促進するために何が必要ですか

「小・中学校でのボランティア活動を活発にする」が 50.0%で最も多く、次いで「隣近所の住民同士の交流を活発にする」と「幼い頃から地域で思いやりの心を育む活動を活発にする」が、ともに 44.4%、「若年・団塊世代向けのボランティア講座を開催する」が 27.8%となっている。

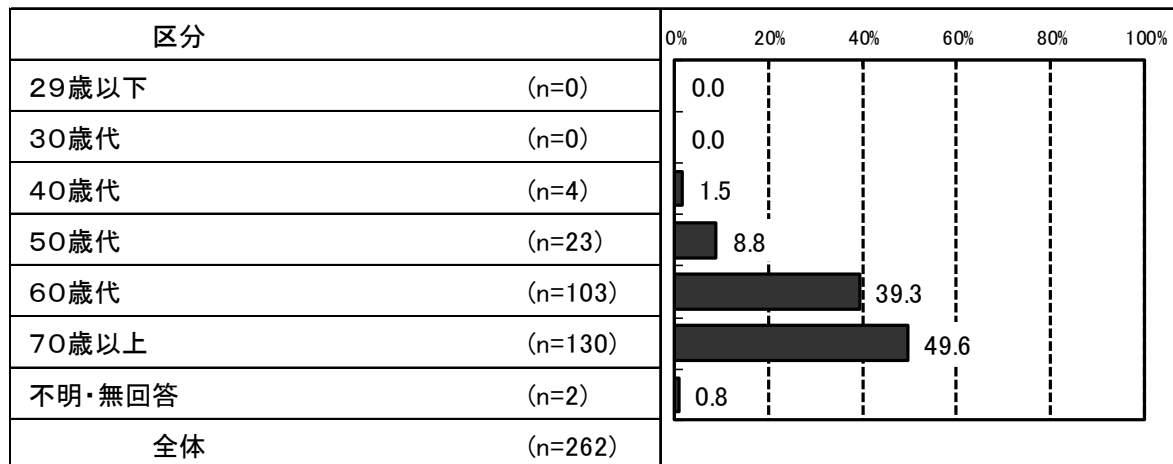
(複数回答)



2) 民生委員・児童委員協議会

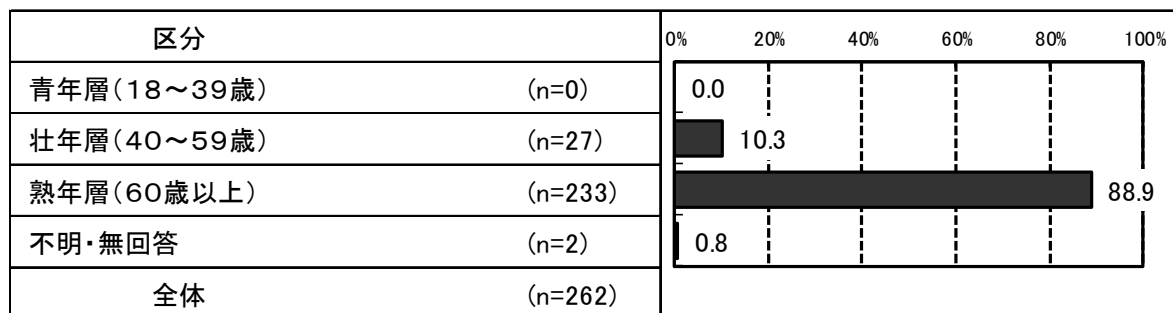
問 1_年齢(6区分)

「70歳以上」が49.6%で最も多く、次いで「60歳代」が39.3%、「50歳代」が8.8%となっている。



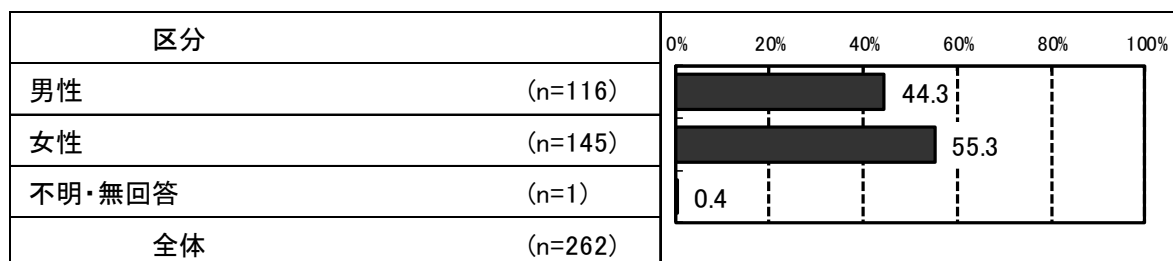
問 1_年齢(3区分)

「熟年層(60歳以上)」が88.9%で最も多く、次いで「壮年層(40～59歳)」が10.3%となっている。



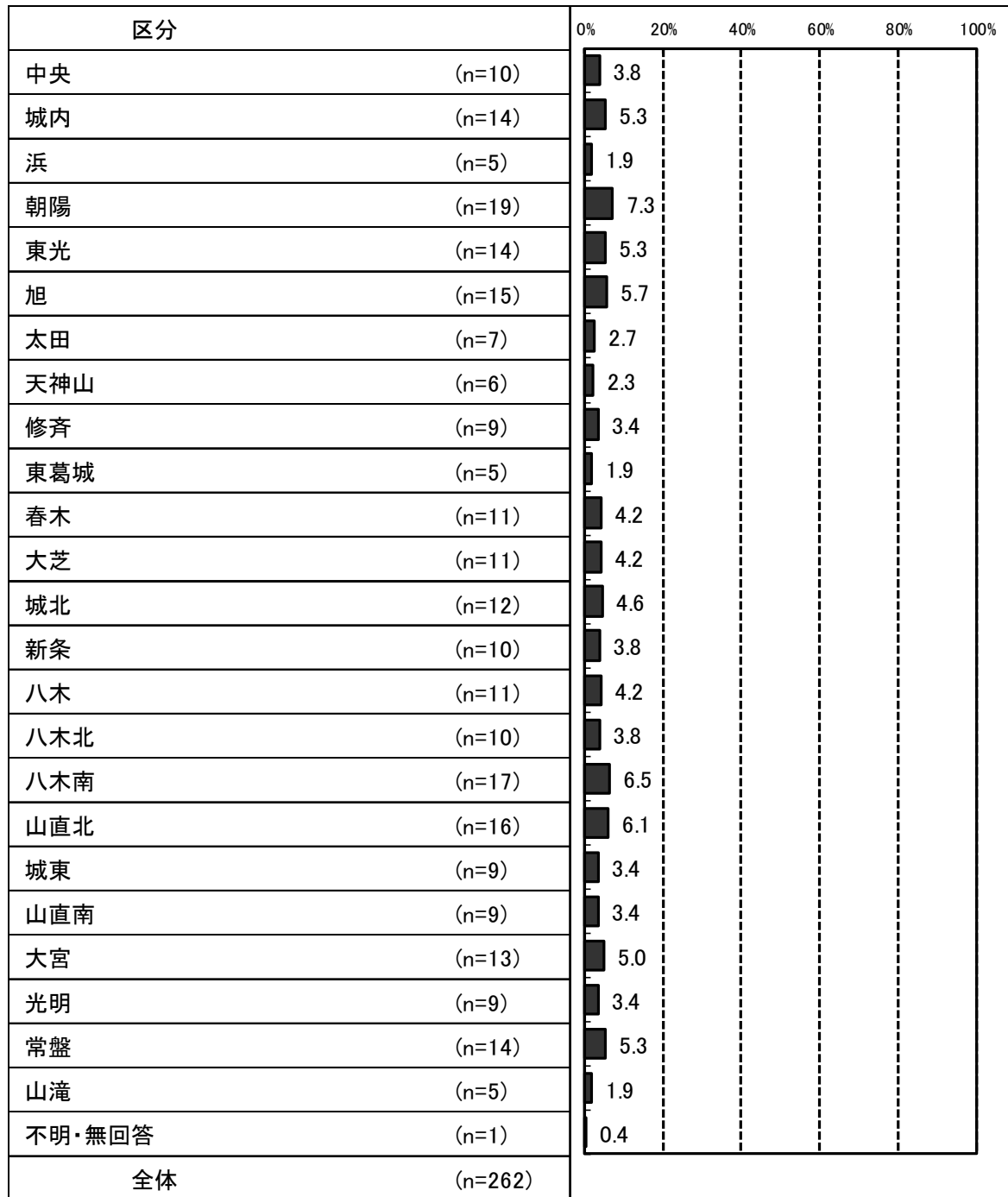
問 1_性別

「女性」が55.3%、「男性」が44.3%となっている。



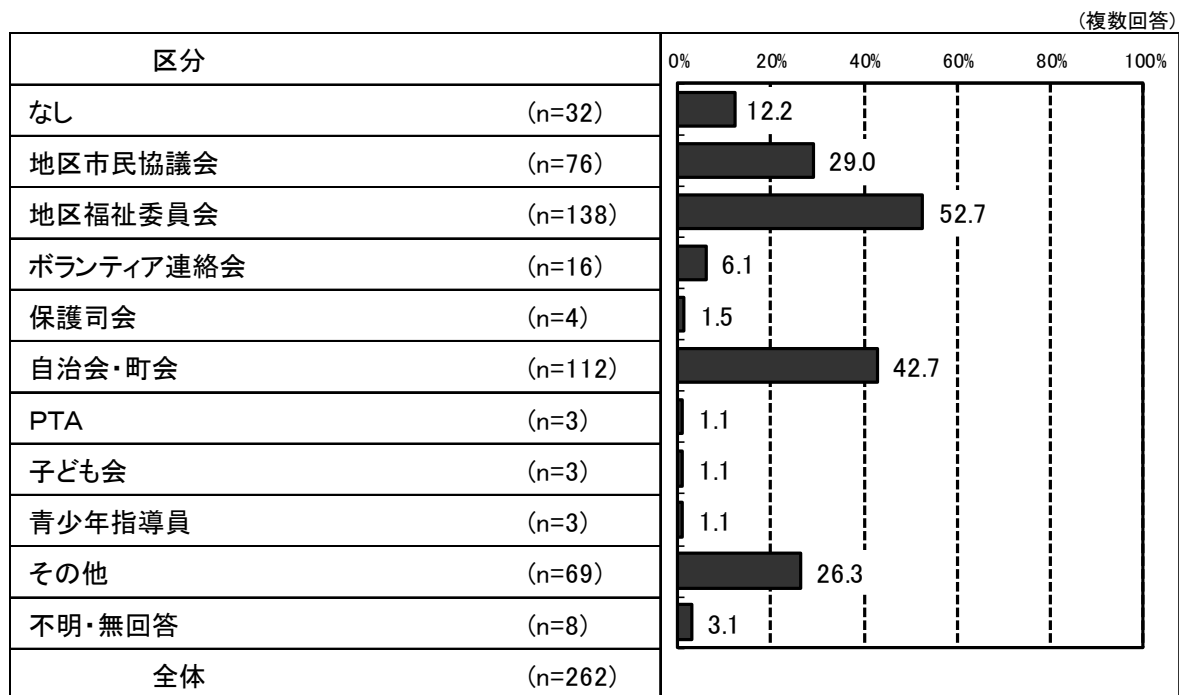
問 2_現在、主に活動している地区(小学校区)をお答えください

「朝陽」が7.3%で最も多く、次いで「八木南」が6.5%、「山直北」が6.1%となっている。



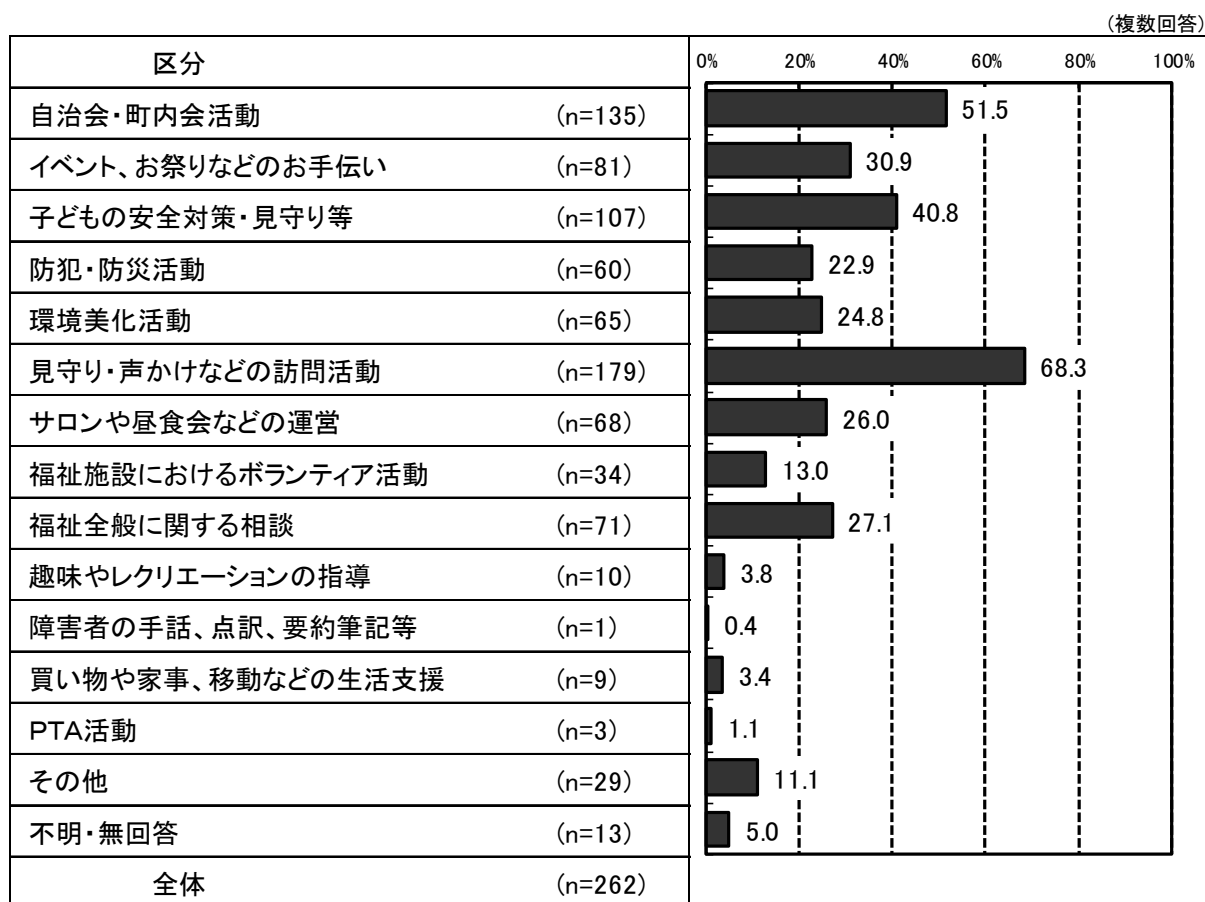
問 3_現在、他に活動されている所属団体があればお答えください

「地区福祉委員会」が52.7%で最も多く、次いで「自治会・町会」が42.7%、「地区市民協議会」が29.0%となっている。



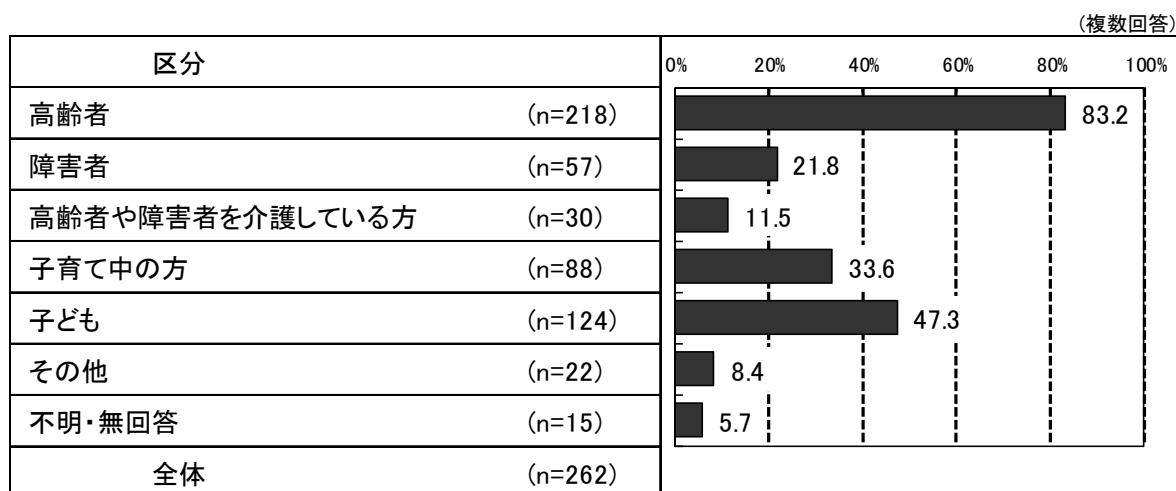
問 4_活動している分野は、何ですか

「見守り・声かけなどの訪問活動」が68.3%で最も多く、次いで「自治会・町内会活動」が51.5%、「子どもの安全対策・見守り等」が40.8%となっている。



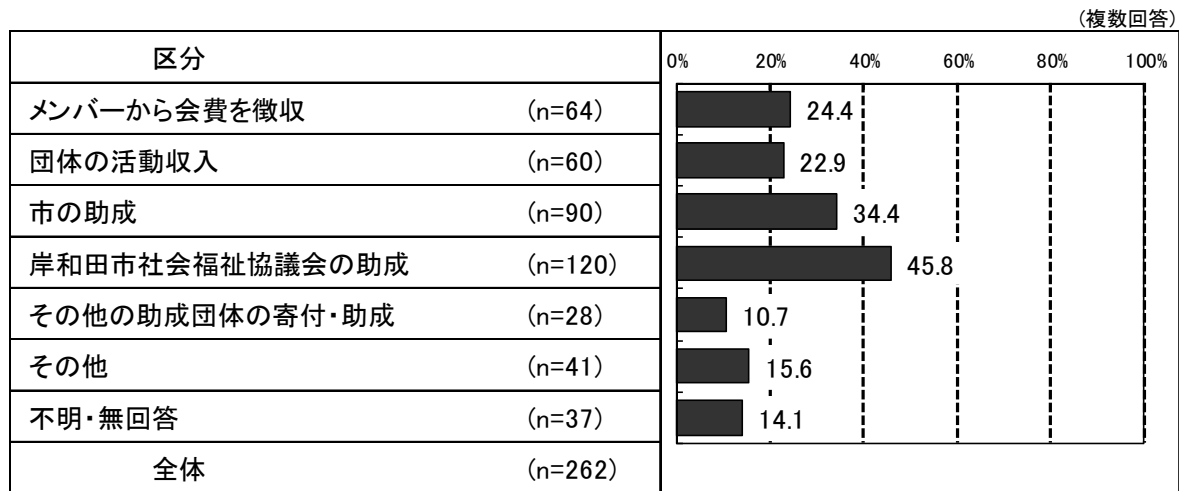
問 5_活動の対象者は、どんな方々ですか

「高齢者」が83.2%で最も多く、次いで「子ども」が47.3%、「子育て中の方」が33.6%となっている。



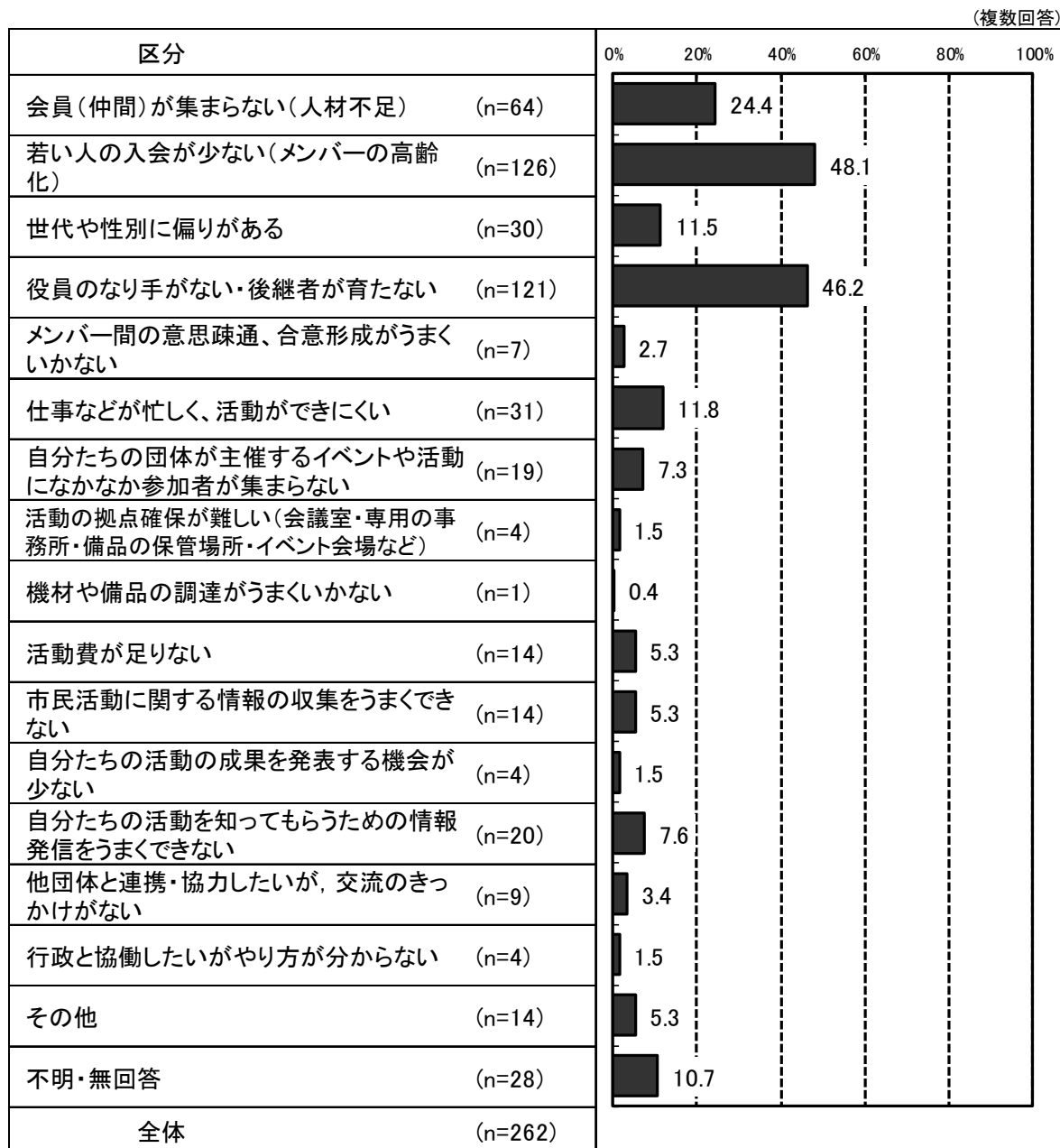
問 6_あなたの団体の活動財源について教えてください

「岸和田市社会福祉協議会の助成」が45.8%で最も多く、次いで「市の助成」が34.4%、「メンバーから会費を徴収」が24.4%となっている。



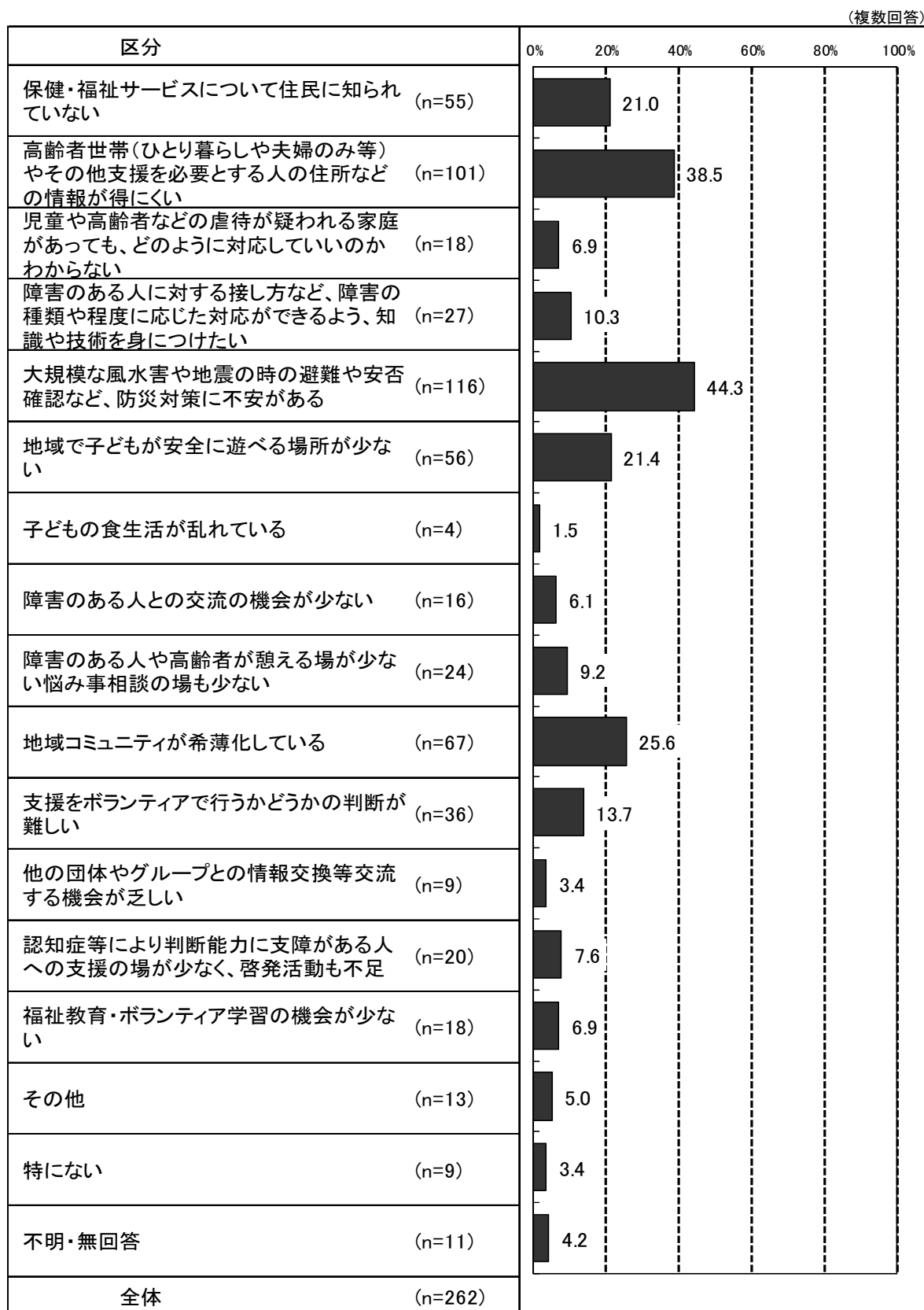
問 7_あなたの団体が活動する上で困っていることがありますか

「若い人の入会が少ない（メンバーの高齢化）」が48.1%で最も多く、次いで「役員のなり手がない・後継者が育たない」が46.2%、「会員（仲間）が集まらない（人材不足）」が24.4%となっている。



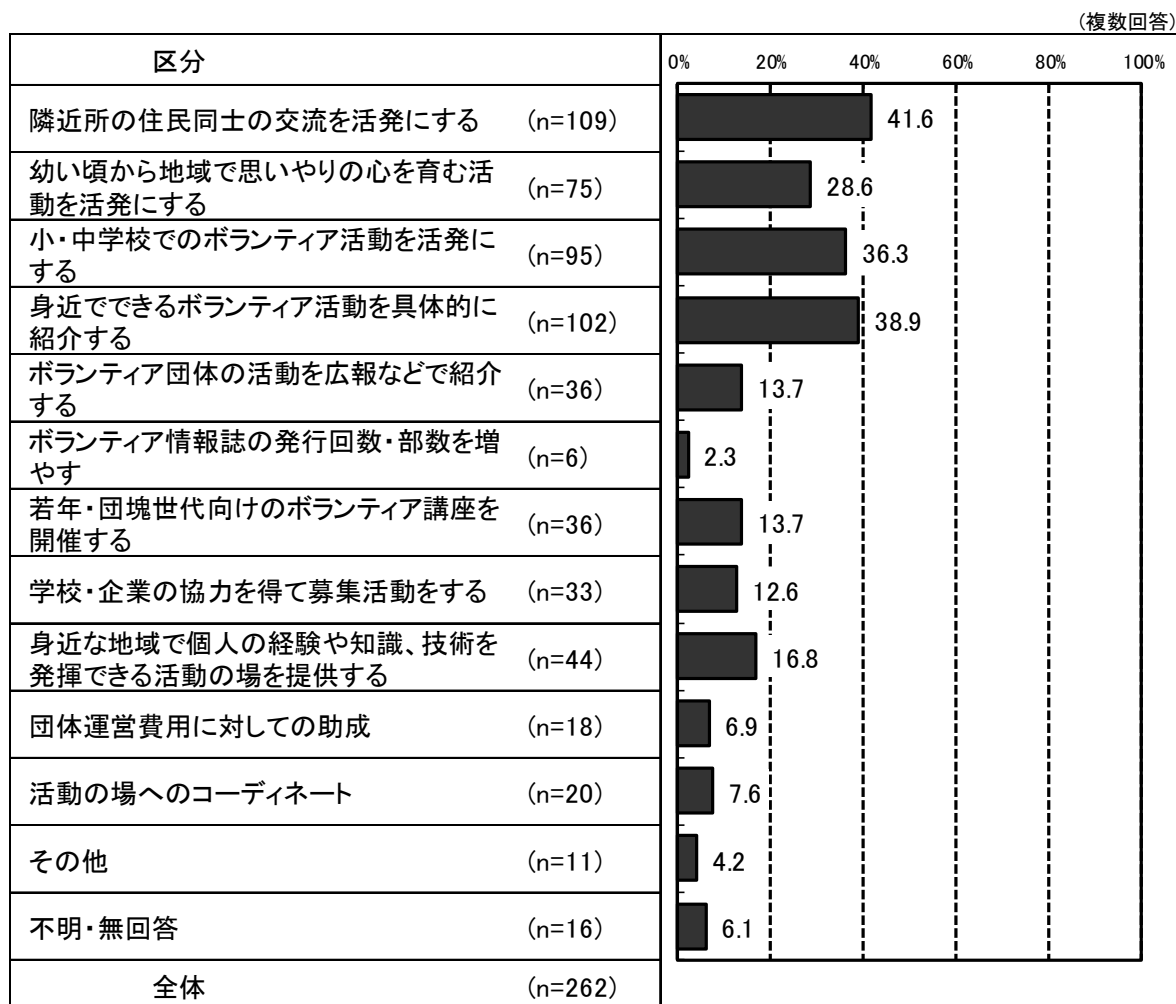
問 8_地域で活動している中で、課題と感じていることがありますか

「大規模な風水害や地震の時の避難や安否確認など、防災対策に不安がある」が 44.3%で最も多く、次いで「高齢者世帯（ひとり暮らしや夫婦のみ等）やその他支援を必要とする人の住所などの情報が得にくい」が 38.5%、「地域コミュニティが希薄化している」が 25.6%となっている。



問 9_若い世代のボランティア活動を促進するために何が必要ですか

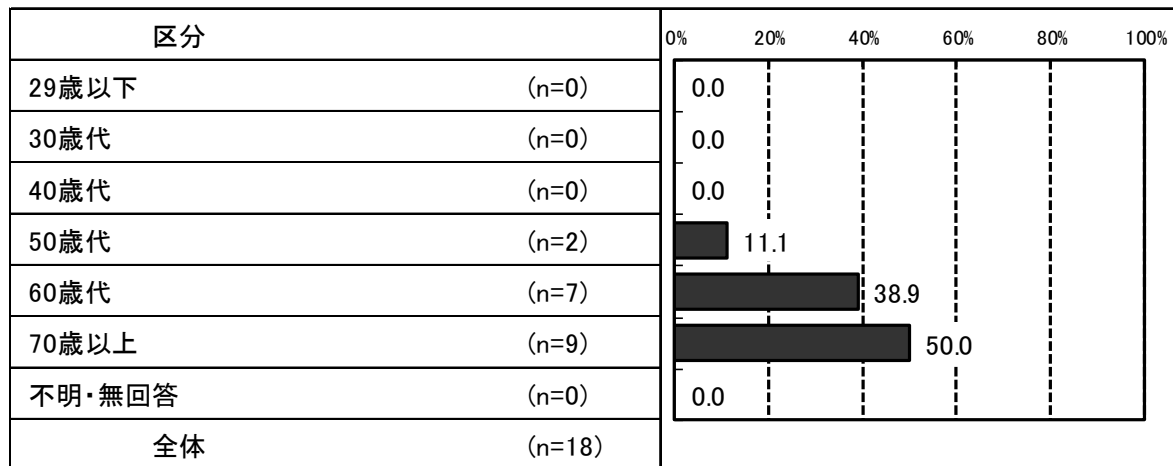
「隣近所の住民同士の交流を活発にする」が 41.6%で最も多く、次いで「身近でできるボランティア活動を具体的に紹介する」が 38.9%、「小・中学校でのボランティア活動を活発にする」が 36.3%となっている。



3)地区福祉委員会

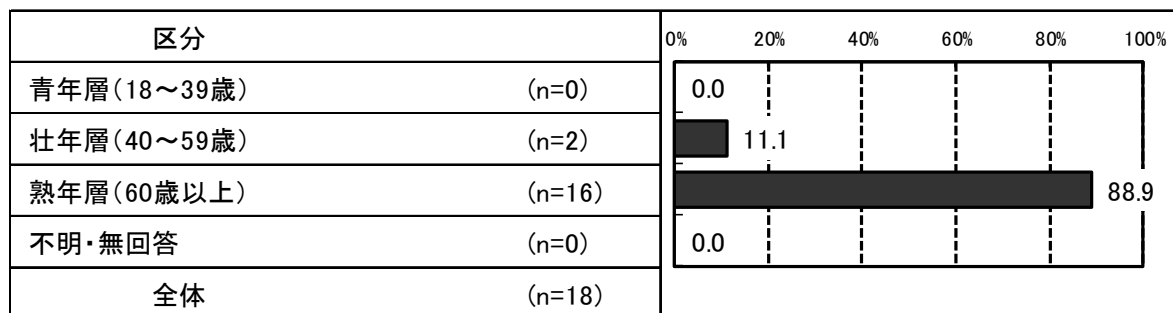
問 1_年齢(6区分)

「70 歳以上」が 50.0%で最も多く、次いで「60 歳代」が 38.9%、「50 歳代」が 11.1%となっている。



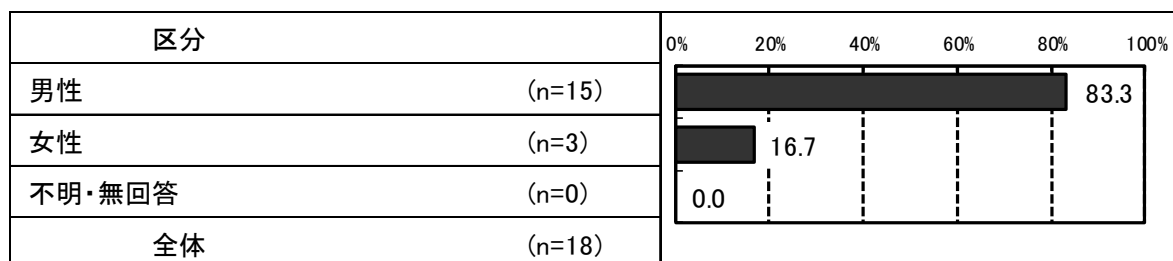
問 1_年齢(3区分)

「熟年層(60 歳以上)」が 88.9%で最も多く、次いで「壮年層(40～59 歳)」が 11.1%となっている。



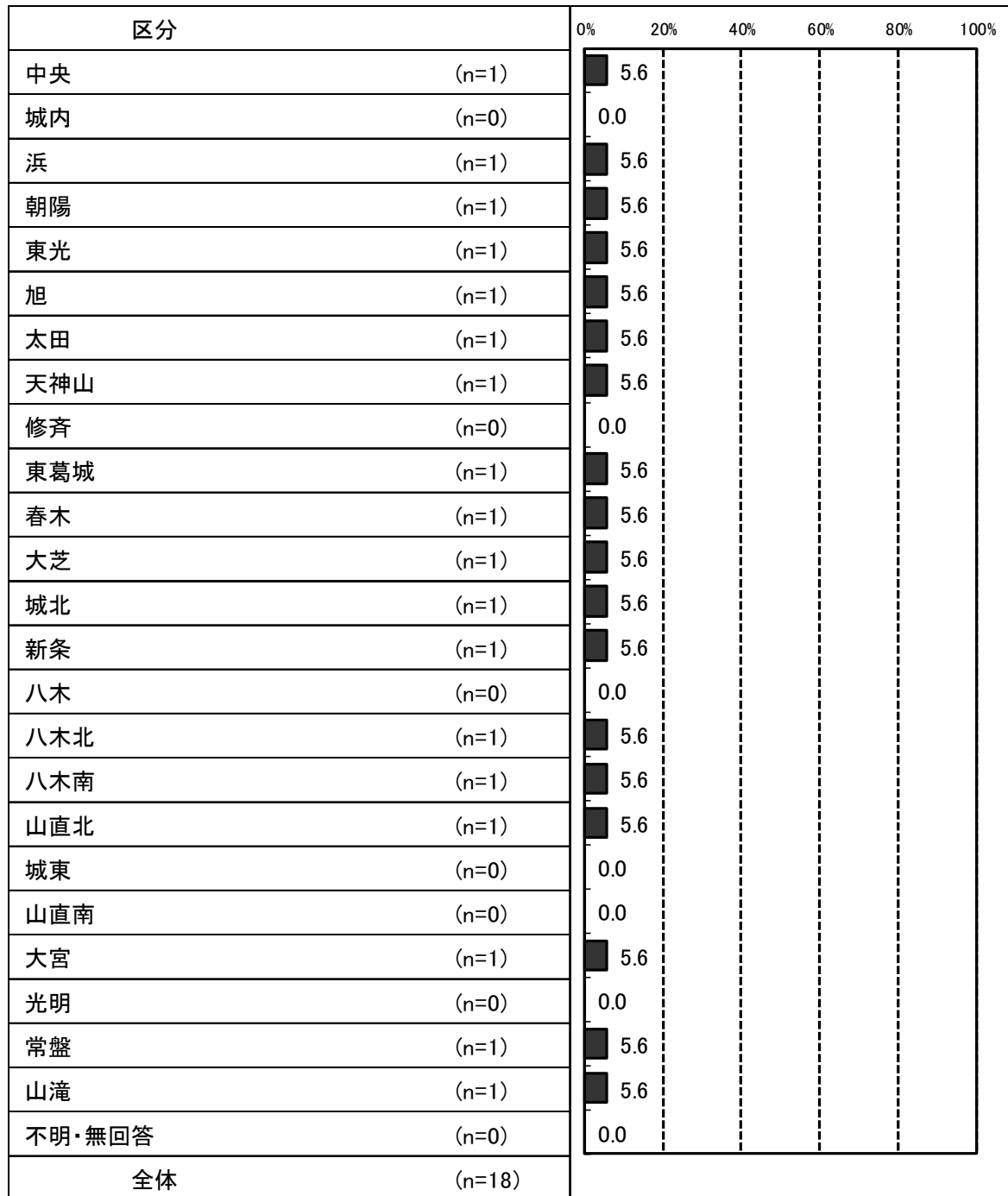
問 1_性別

「男性」が 83.3%、「女性」が 16.7%となっている。



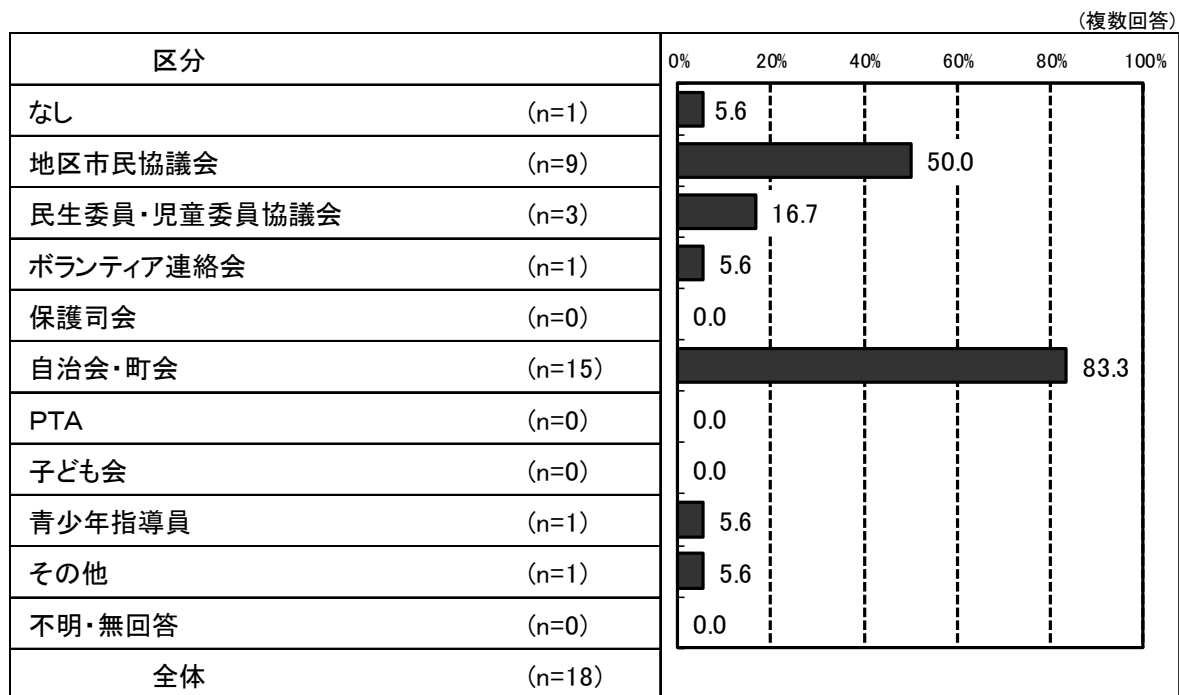
問 2_現在、主に活動している地区(小学校区)をお答えください

「中央」「浜」「朝陽」「東光」「旭」「太田」「天神山」「東葛城」「春木」「大芝」「城北」「新条」「八木北」「八木南」「山直北」「大宮」「常盤」「山滝」がともに 5.6%となっている。



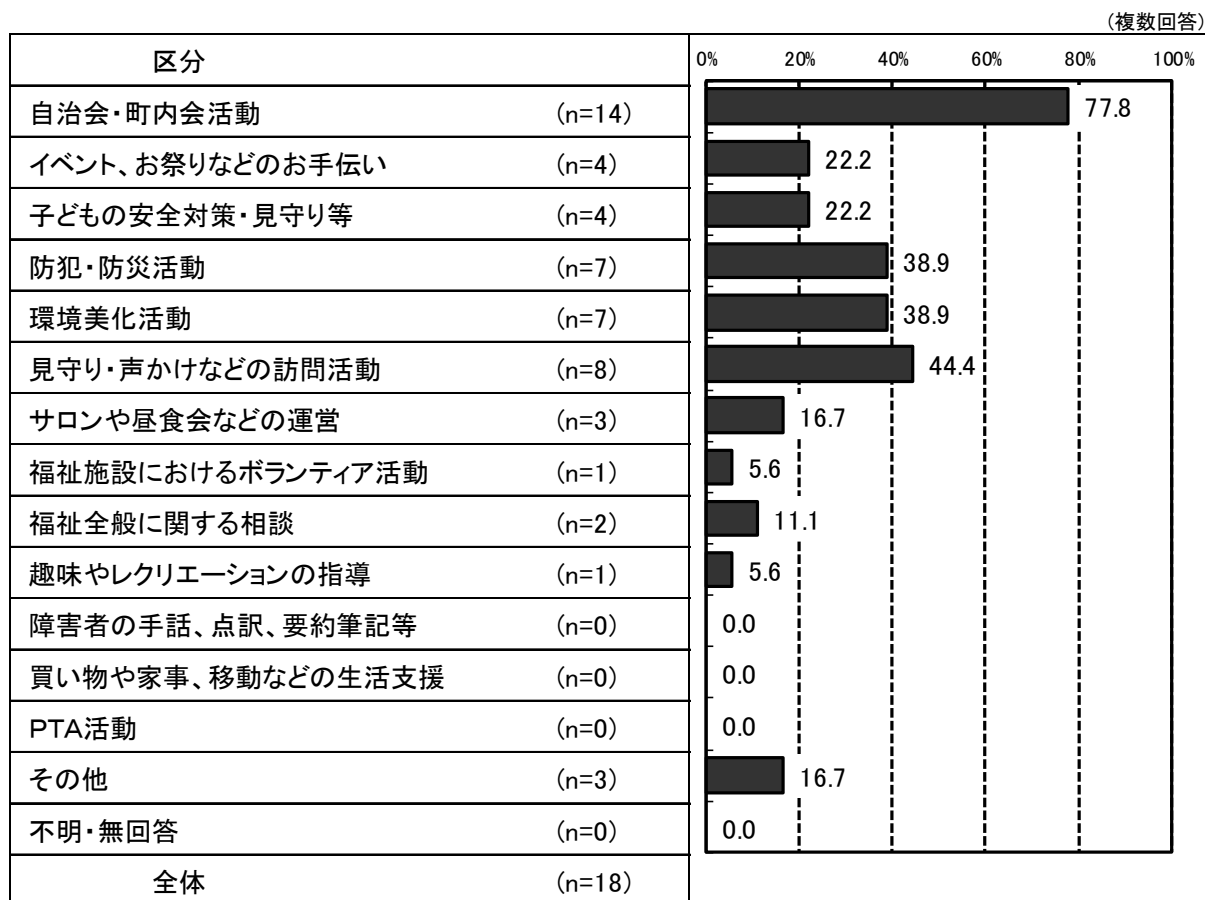
問 3_現在、他に活動されている所属団体があればお答えください

「自治会・町会」が83.3%で最も多く、次いで「地区市民協議会」が50.0%、「民生委員・児童委員協議会」が16.7%となっている。



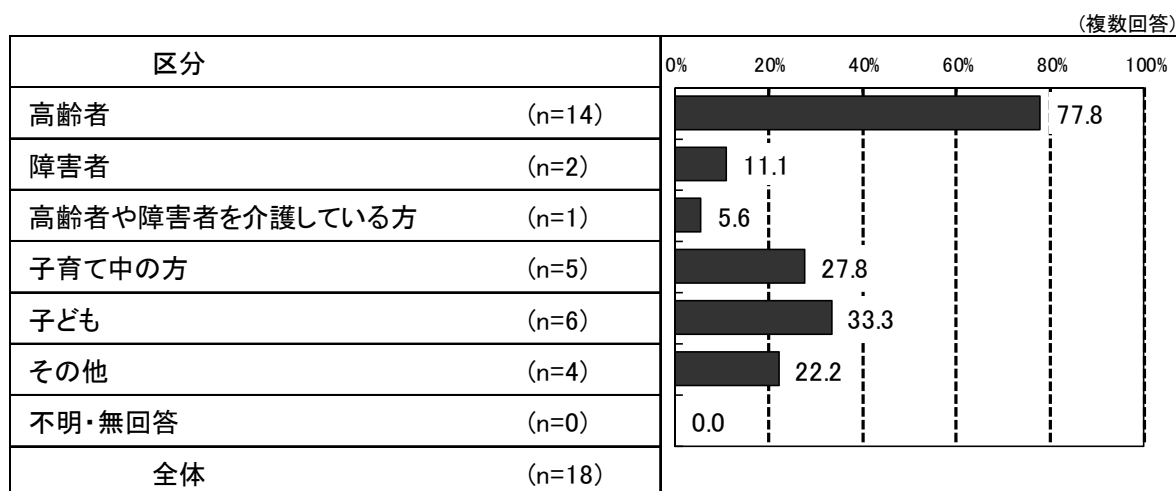
問 4_活動している分野は、何ですか

「自治会・町内会活動」が 77.8%で最も多く、次いで「見守り・声かけなどの訪問活動」が 44.4%、「防犯・防災活動」と「環境美化活動」が、ともに 38.9%となっている。



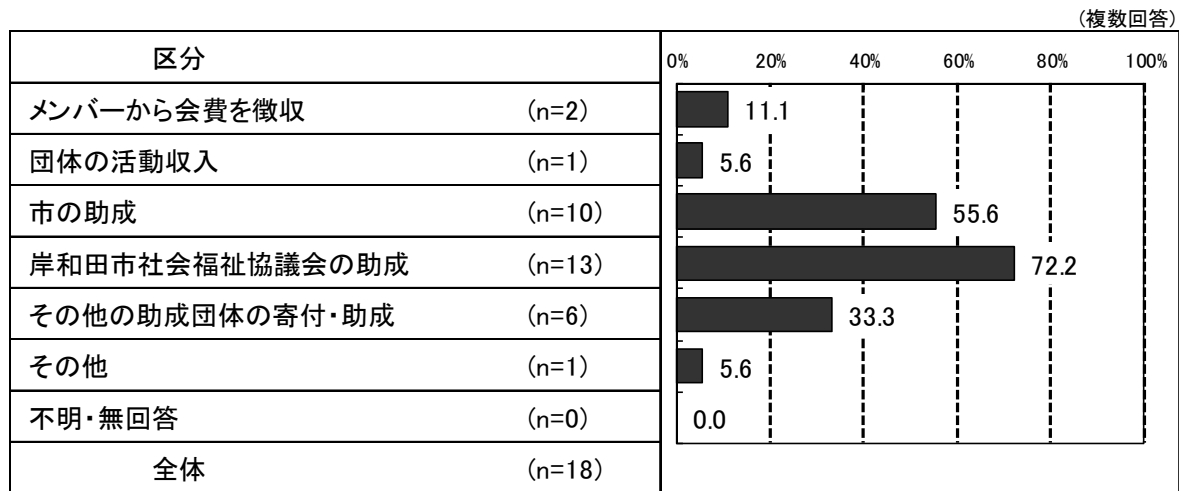
問 5_活動の対象者は、どんな方々ですか

「高齢者」が 77.8%で最も多く、次いで「子ども」が 33.3%、「子育て中の方」が 27.8%となっている。



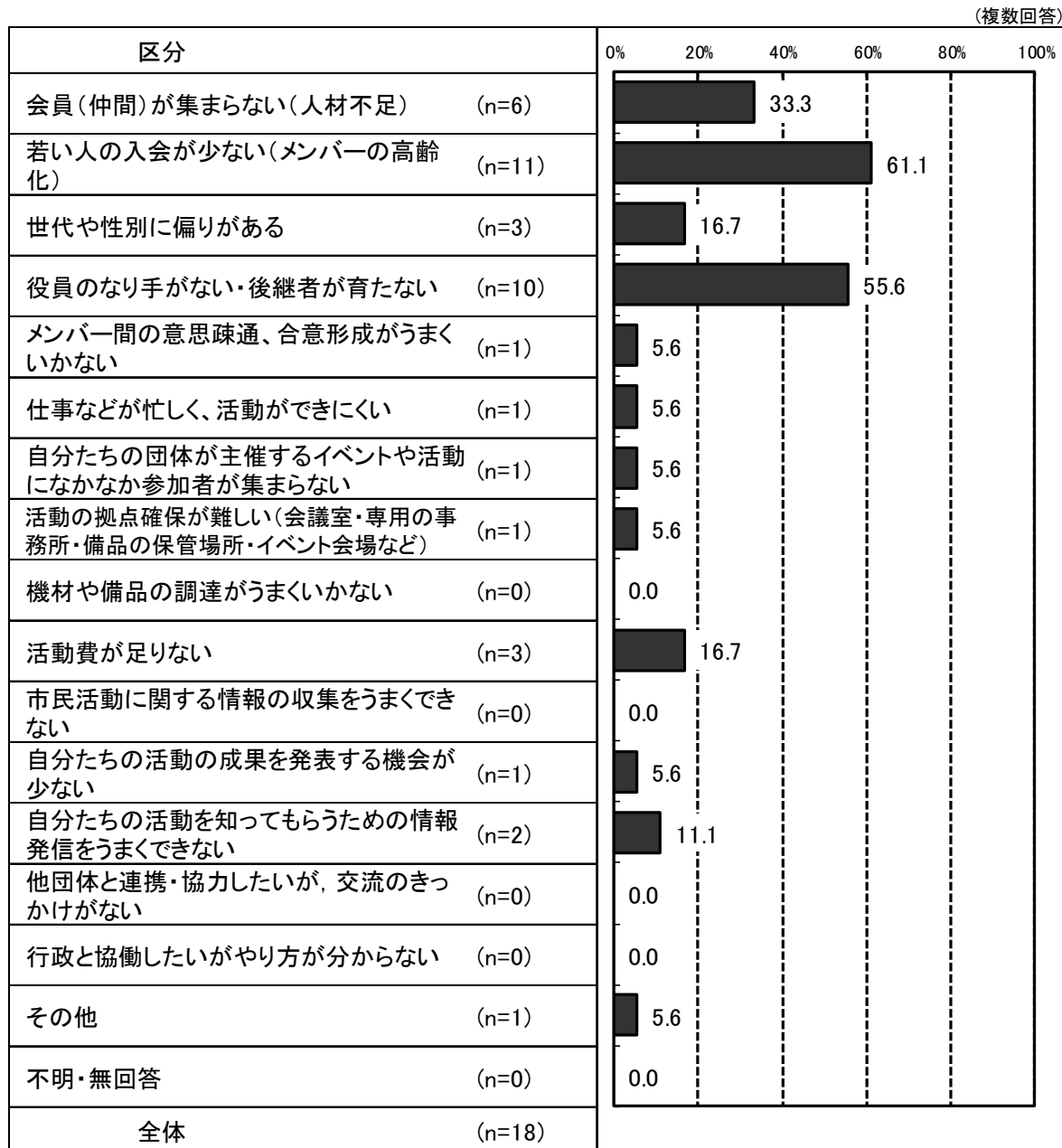
問 6_あなたの団体の活動財源について教えてください

「岸和田市社会福祉協議会の助成」が72.2%で最も多く、次いで「市の助成」が55.6%、「その他の助成団体の寄付・助成」が33.3%となっている。



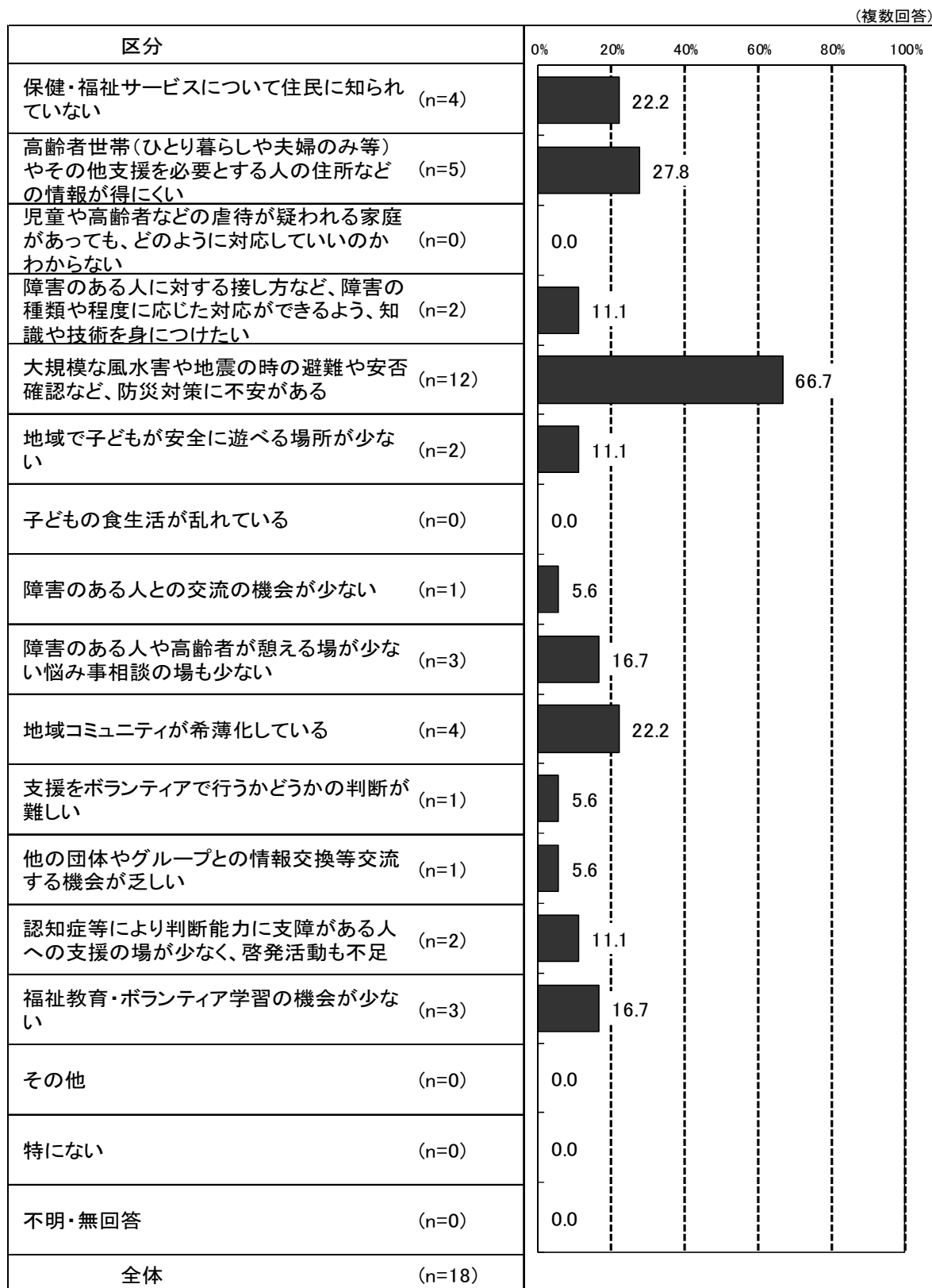
問 7_あなたの団体が活動する上で困っていることがありますか

「若い人の入会が少ない(メンバーの高齢化)」が61.1%で最も多く、次いで「役員のなり手がない・後継者が育たない」が55.6%、「会員(仲間)が集まらない(人材不足)」が33.3%となっている。



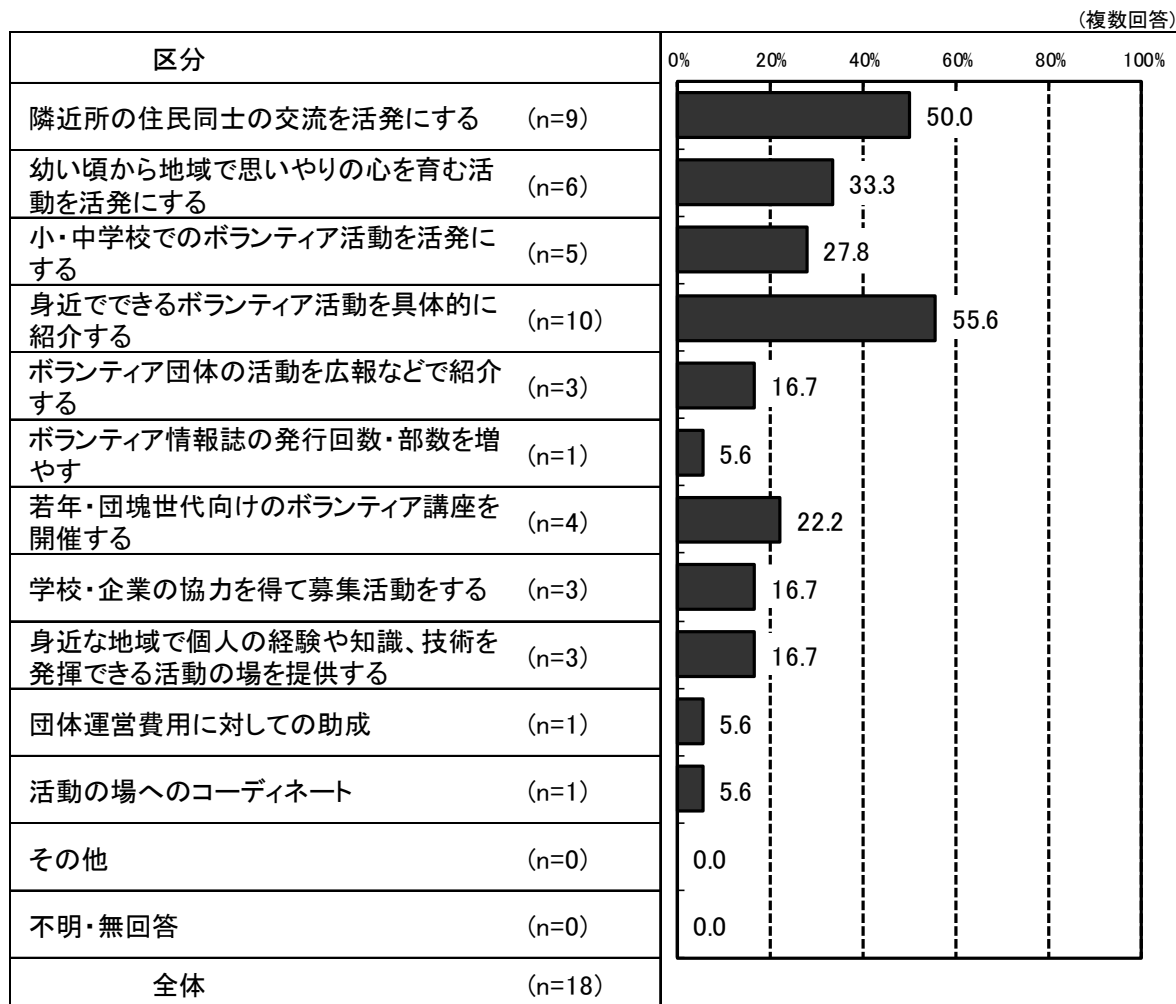
問 8_地域で活動している中で、課題と感じていることがありますか

「大規模な風水害や地震の時の避難や安否確認など、防災対策に不安がある」が 66.7%で最も多く、次いで「高齢者世帯（ひとり暮らしや夫婦のみ等）やその他支援を必要とする人の住所などの情報が得にくい」が 27.8%、「保健・福祉サービスについて住民に知られていない」と「地域コミュニティが希薄化している」がともに 22.2%となっている。



問 9_若い世代のボランティア活動を促進するために何が必要ですか

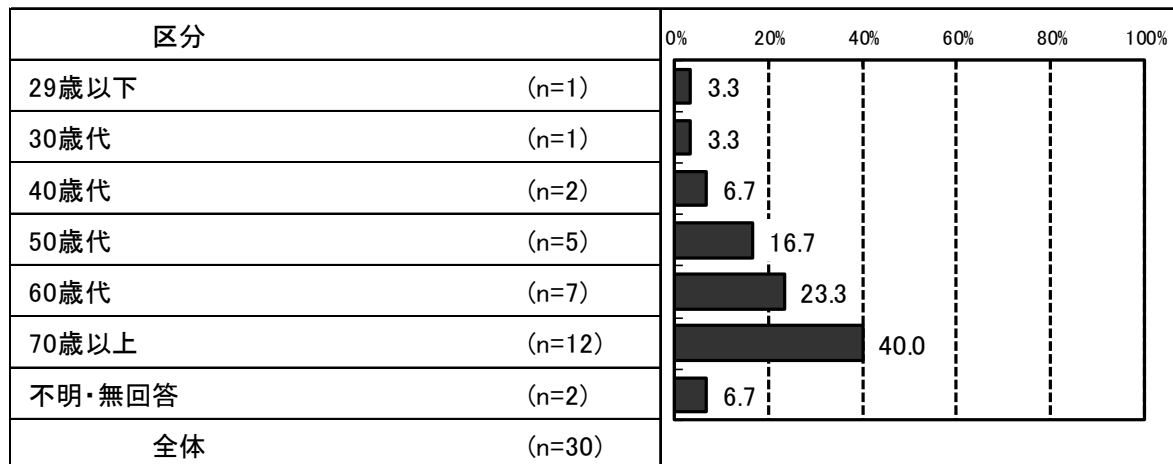
「身近でできるボランティア活動を具体的に紹介する」が 55.6%で最も多く、次いで「隣近所の住民同士の交流を活発にする」が 50.0%、「幼い頃から地域で思いやりの心を育む活動を活発にする」が 33.3%となっている。



4) ボランティア連絡会

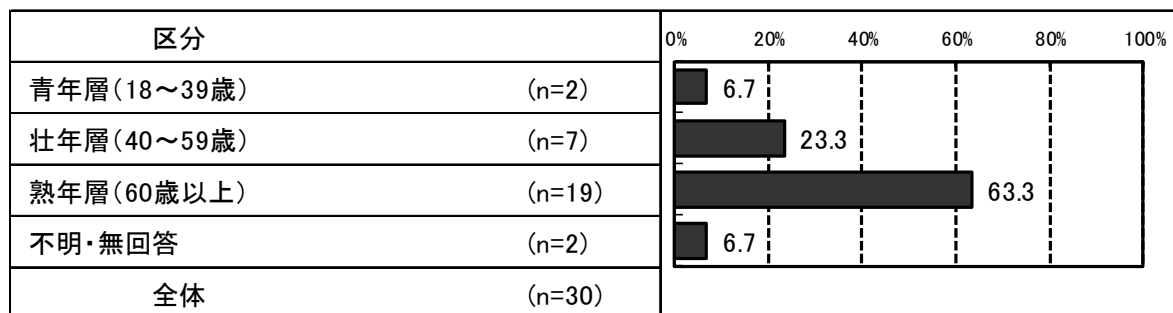
問 1_年齢(6区分)

「70 歳以上」が 40.0%で最も多く、次いで「60 歳代」が 23.3%、「50 歳代」が 16.7%となっている。



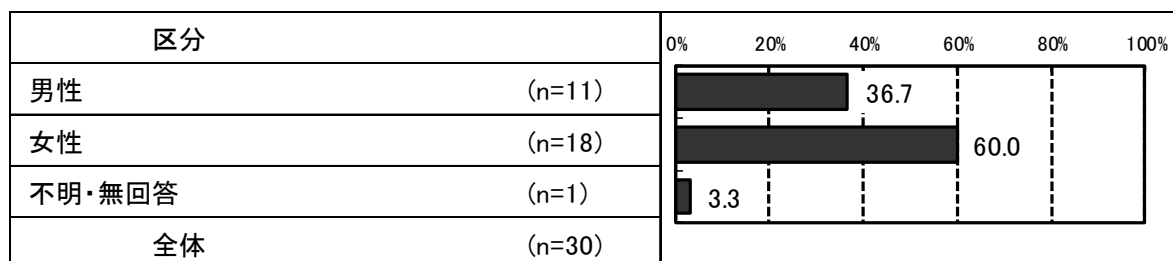
問 1_年齢(3区分)

「熟年層 (60 歳以上)」が 63.3%で最も多く、次いで「壮年層 (40～59 歳)」が 23.3%、「青年層 (18～39 歳)」が 6.7%となっている。



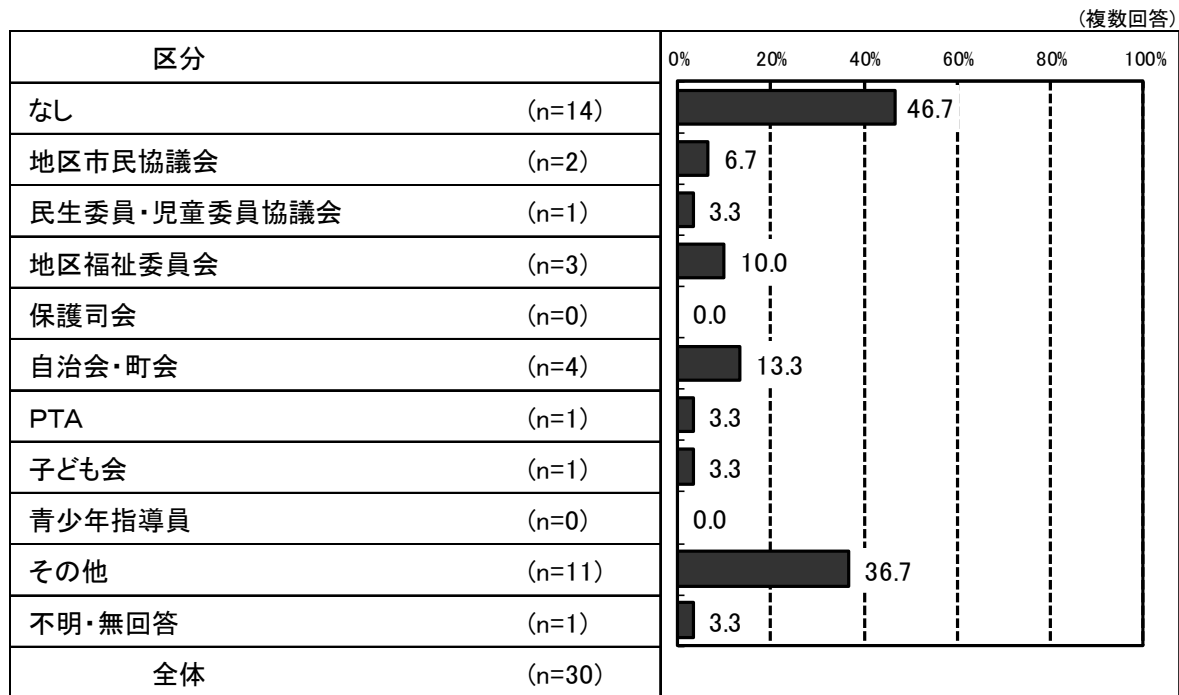
問 1_性別

「女性」が 60.0%、「男性」が 36.7%となっている。



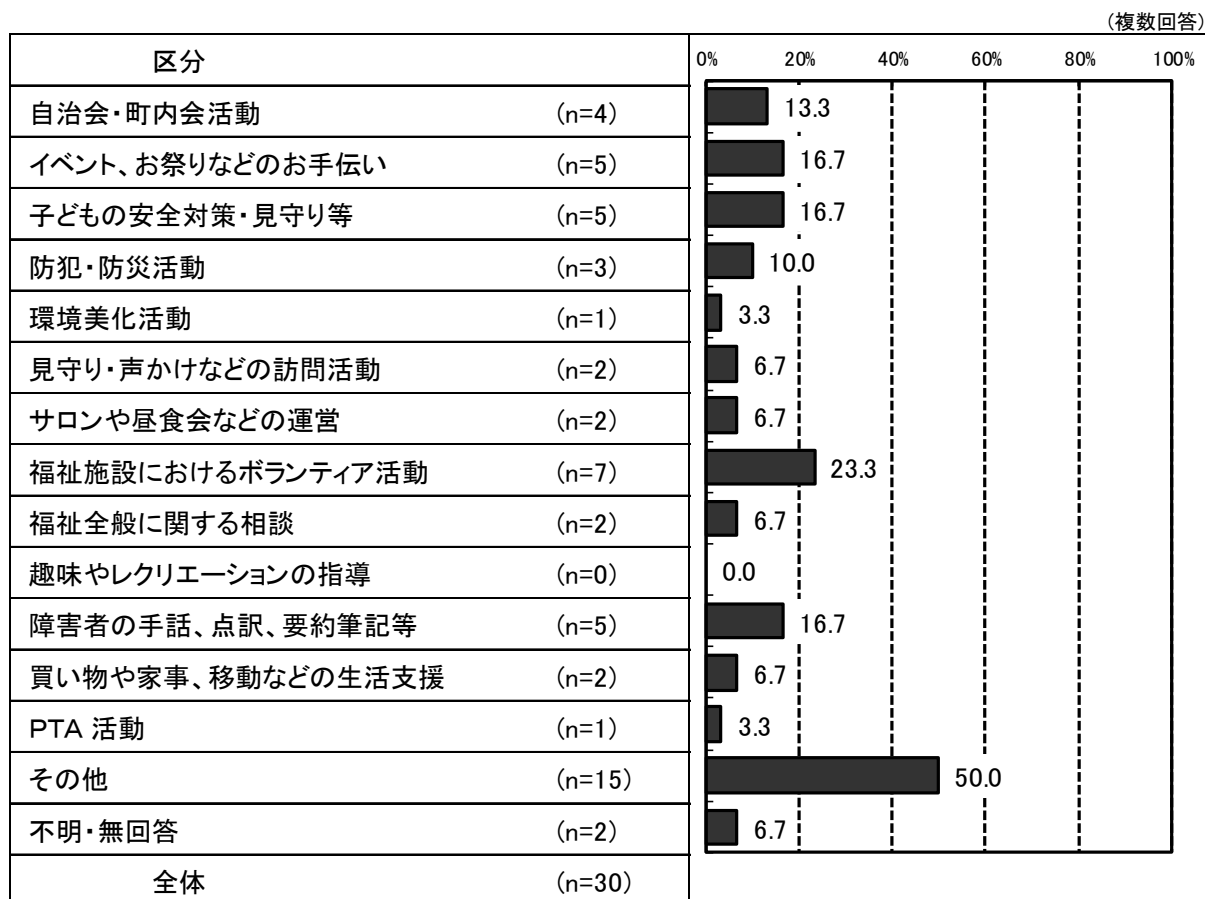
問 2_現在、他に活動されている所属団体があればお答えください

「なし」が46.7%で最も多く、次いで「その他」が36.7%、「自治会・町会」が13.3%となっている。



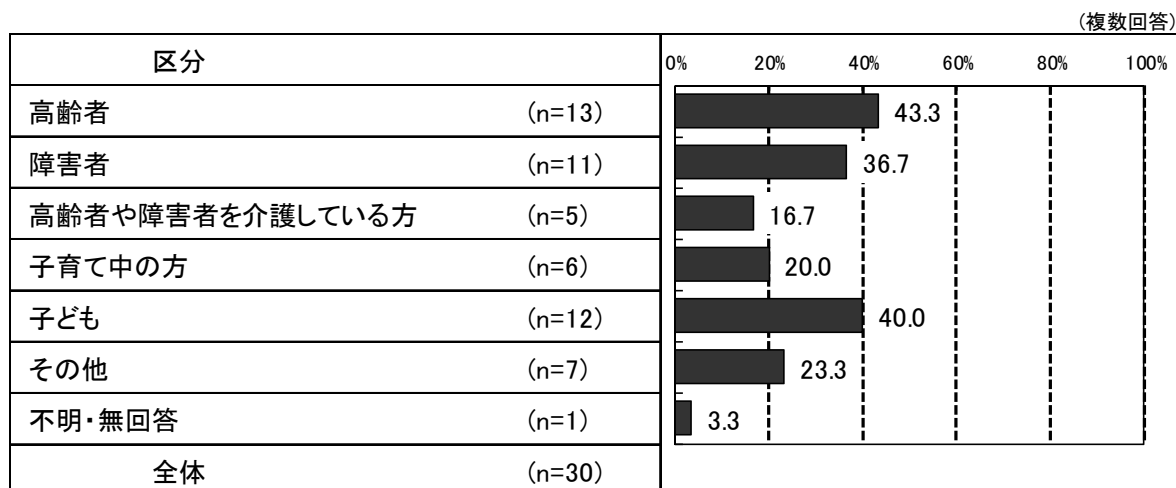
問 3_活動している分野は、何ですか

「その他」が 50.0%で最も多く、次いで「福祉施設におけるボランティア活動」が 23.3%、「イベント、お祭りなどのお手伝い」と「子どもの安全対策・見守り等」と「障害者の手話、点訳、要約筆記等」がともに 16.7%となっている。



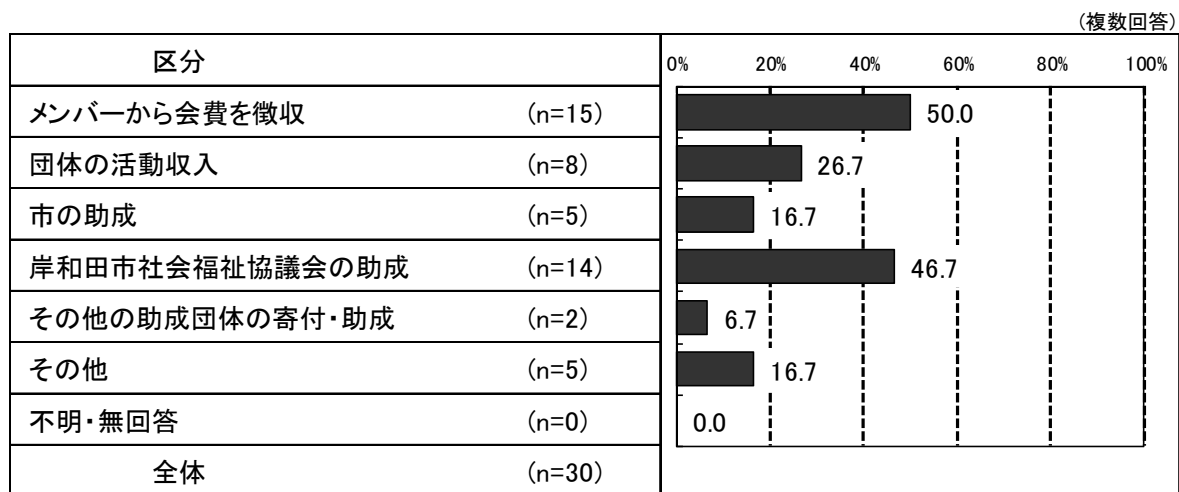
問 4_活動の対象者は、どんな方々ですか

「高齢者」が 43.3%で最も多く、次いで「子ども」が 40.0%、「障害者」が 36.7%となっている。



問 5_あなたの団体の活動財源について教えてください

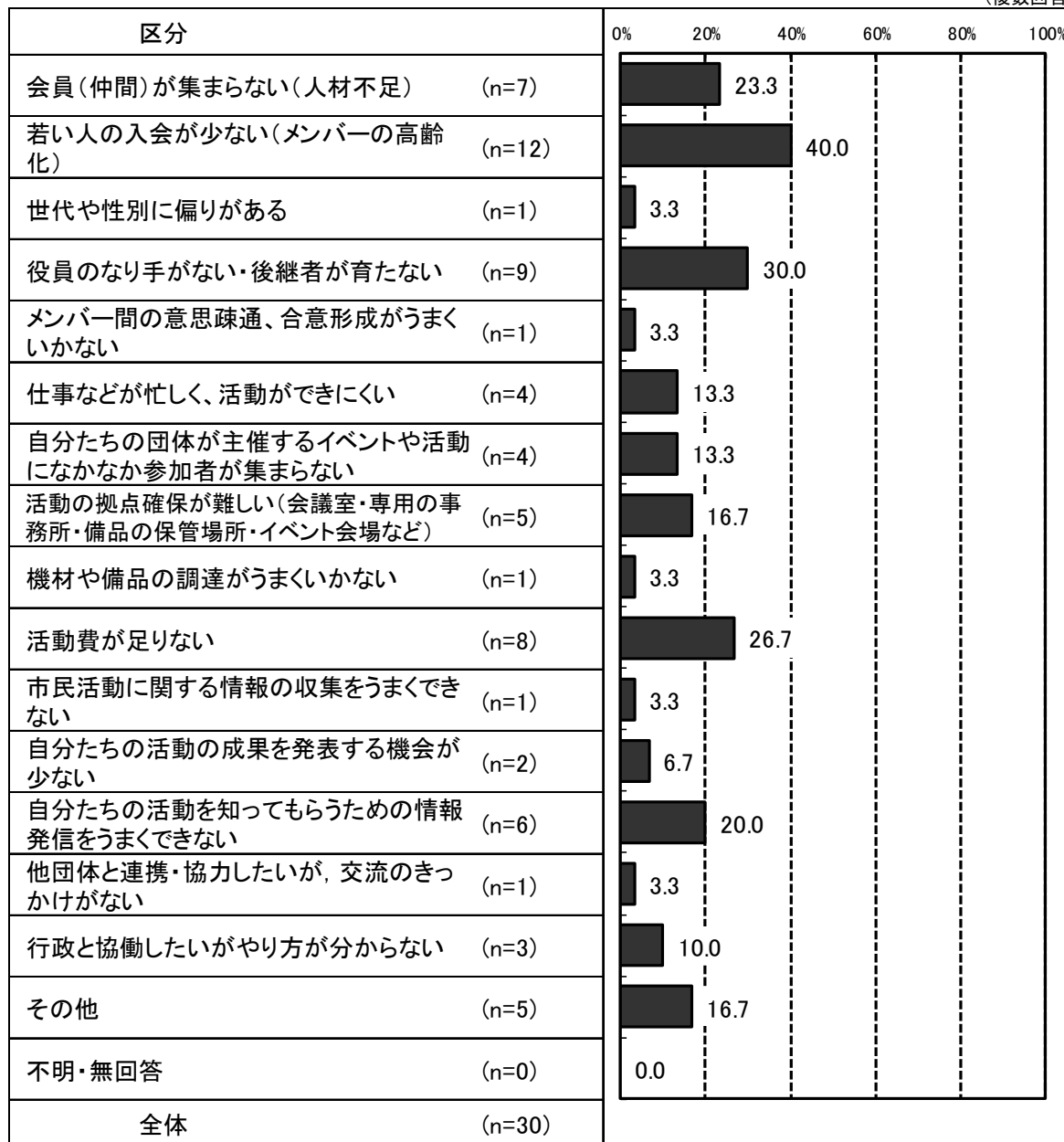
「メンバーから会費を徴収」が 50.0%で最も多く、次いで「岸和田市社会福祉協議会の助成」が 46.7%、「団体の活動収入」が 26.7%となっている。



問 6 あなたの団体が活動する上で困っていることがありますか

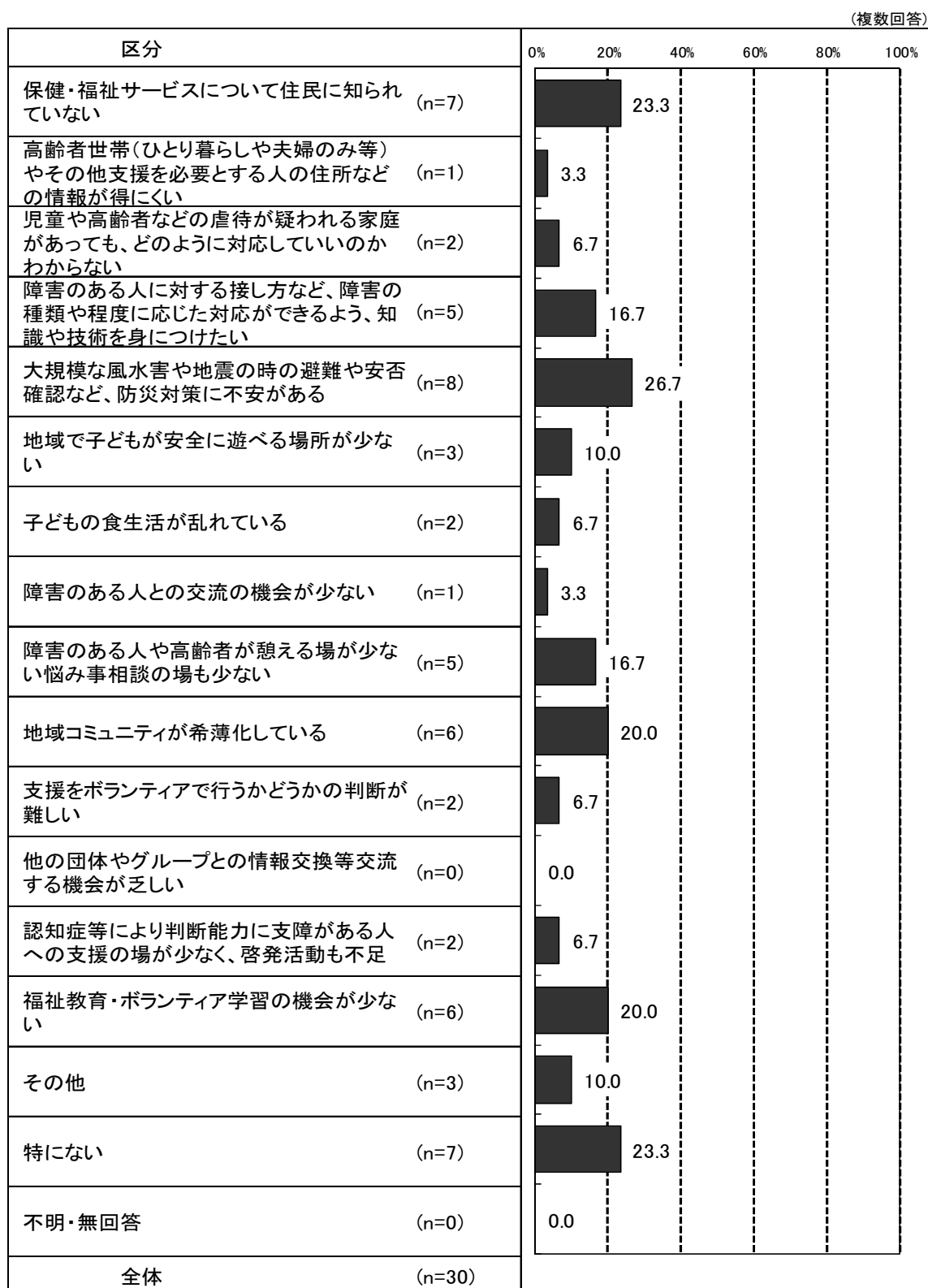
「若い人の入会が少ない(メンバーの高齢化)」が40.0%で最も多く、次いで「役員のなり手がない・後継者が育たない」が30.0%、「活動費が足りない」が26.7%となっている。

(複数回答)



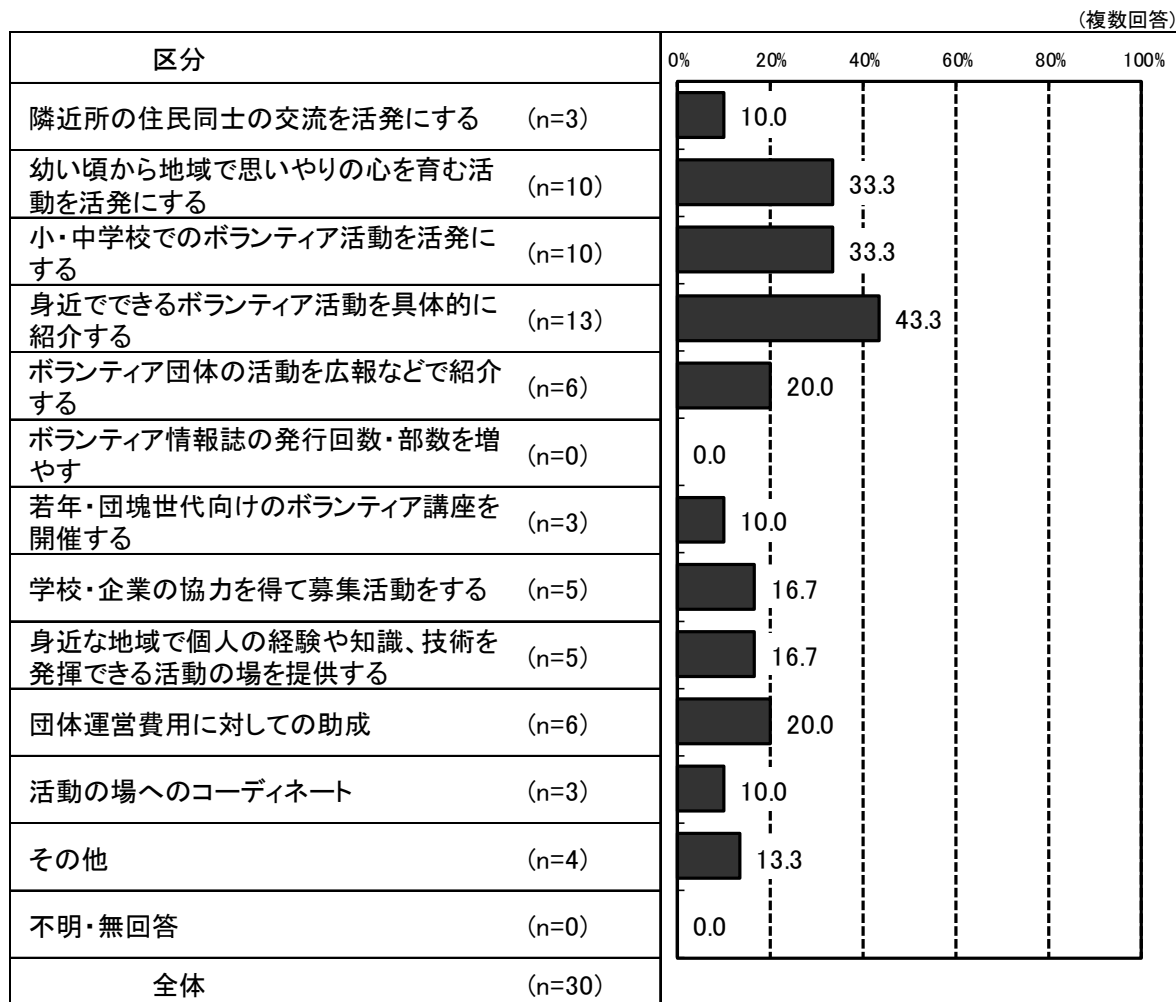
問 7_地域で活動している中で、課題と感じていることがありますか

「大規模な風水害や地震の時の避難や安否確認など、防災対策に不安がある」が 26.7%で最も多く、次いで「保健・福祉サービスについて住民に知られていない」と「特にない」がともに 23.3%、「地域コミュニティが希薄化している」と「福祉教育・ボランティア学習の機会が少ない」がともに 20.0%となっている。



問 8_若い世代のボランティア活動を促進するために何が必要ですか

「身近でできるボランティア活動を具体的に紹介する」が 43.3%で最も多く、次いで「幼い頃から地域で思いやりの心を育む活動を活発にする」と「小・中学校でのボランティア活動を活発にする」がともに 33.3%、「ボランティア団体の活動を広報などで紹介する」と「団体運営費用に対する助成」がともに 20.0%となっている。



【参考】4調査統合表

以下では、これまで掲載した集計結果について、4つの調査に共通の設問を対象に、1つにまとめた表を掲載する。

問 1_年齢(6区分)

単位：％

	合計（人）	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明・無回答
全体	328	0.3	0.3	2.1	11.6	37.2	47.3	1.2
①地区市民協議会	18	0.0	0.0	5.6	44.4	27.8	22.2	0.0
②民生委員・児童委員協議会	262	0.0	0.0	1.5	8.8	39.3	49.6	0.8
③地区福祉委員会	18	0.0	0.0	0.0	11.1	38.9	50.0	0.0
④ボランティア連絡会	30	3.3	3.3	6.7	16.7	23.3	40.0	6.7

問 1_性別

単位：％

	合計（人）	男性	女性	不明・無回答
全体	328	48.8	50.6	0.6
①地区市民協議会	18	100.0	0.0	0.0
②民生委員・児童委員協議会	262	44.3	55.3	0.4
③地区福祉委員会	18	83.3	16.7	0.0
④ボランティア連絡会	30	36.7	60.0	3.3

問 2_現在、主に活動している地区(小学校区)をお答えください

単位：％

	合計（人）	中央	城内	浜	朝陽	東光	旭	太田	天神山	修斉	東葛城	春木	大芝	城北
全体	298	4.0	5.0	2.3	7.0	5.4	5.7	2.7	2.3	3.4	2.3	4.4	4.0	4.7
①地区市民協議会	18	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	5.6
②民生委員・児童委員協議会	262	3.8	5.3	1.9	7.3	5.3	5.7	2.7	2.3	3.4	1.9	4.2	4.2	4.6
③地区福祉委員会	18	5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	5.6
④ボランティア連絡会	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「④ボランティア連絡会」は本設問は質問していない。

単位：％

	合計（人）	新条	八木	八木北	八木南	山直北	城東	山直南	大宮	光明	常盤	山滝	不明・無回答
全体	298	4.0	3.7	3.7	6.0	5.7	3.0	3.4	5.0	3.7	5.4	2.3	0.7
①地区市民協議会	18	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6
②民生委員・児童委員協議会	262	3.8	4.2	3.8	6.5	6.1	3.4	3.4	5.0	3.4	5.3	1.9	0.4
③地区福祉委員会	18	5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	5.6	0.0
④ボランティア連絡会	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「④ボランティア連絡会」は本設問は質問していない。

問 3_現在、他に活動されている所属団体があればお答えください

単位：％

	合計（人）	自治会・町内会活動	イベント、お祭りなどのお手伝い	子どもの安全対策・見守り等	防犯・防災活動	環境美化活動	見守り・声かけなどの訪問活動	サロンや昼食会などの運営	福祉施設におけるボランティア活動	福祉全般に関する相談	趣味やレクリエーションの指導	障害者の手話、点訳、要約筆記等	買い物や家事、移動などの生活支援	PTA活動	その他	不明・無回答
全体	328	51.2	30.5	36.6	22.9	24.4	59.5	23.2	13.4	23.8	3.4	1.8	3.7	1.5	14.6	4.6
①地区市民協議会	18	83.3	55.6	22.2	27.8	38.9	33.3	16.7	11.1	16.7	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0
②民生委員・児童委員協議会	262	51.5	30.9	40.8	22.9	24.8	68.3	26.0	13.0	27.1	3.8	0.4	3.4	1.1	11.1	5.0
③地区福祉委員会	18	77.8	22.2	22.2	38.9	38.9	44.4	16.7	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
④ボランティア連絡会	30	13.3	16.7	16.7	10.0	3.3	6.7	6.7	23.3	6.7	0.0	16.7	6.7	3.3	50.0	6.7

問 4_活動している分野は、何ですか

単位：％

	合計（人）	自治会・町内会活動	イベント、お祭りなどのお手伝い	子どもの安全対策・見守り等	防犯・防災活動	環境美化活動	見守り・声かけなどの訪問活動	サロンや昼食会などの運営	福祉施設におけるボランティア活動	福祉全般に関する相談	趣味やレクリエーションの指導	障害者の手話、点訳、要約筆記等	買い物や家事、移動などの生活支援	PTA活動	その他	不明・無回答
全体	328	51.2	30.5	36.6	22.9	24.4	59.5	23.2	13.4	23.8	3.4	1.8	3.7	1.5	14.6	4.6
①地区市民協議会	18	83.3	55.6	22.2	27.8	38.9	33.3	16.7	11.1	16.7	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0
②民生委員・児童委員協議会	262	51.5	30.9	40.8	22.9	24.8	68.3	26.0	13.0	27.1	3.8	0.4	3.4	1.1	11.1	5.0
③地区福祉委員会	18	77.8	22.2	22.2	38.9	38.9	44.4	16.7	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
④ボランティア連絡会	30	13.3	16.7	16.7	10.0	3.3	6.7	6.7	23.3	6.7	0.0	16.7	6.7	3.3	50.0	6.7

問 5_活動の対象者は、どんな方々ですか

単位：％

	合計（人）	高齢者	障害者	高齢者や障害者を介護している方	子育て中の方	子ども	その他	不明・無回答
全体	328	78.0	22.0	11.9	31.4	45.7	11.6	4.9
①地区市民協議会	18	61.1	11.1	16.7	22.2	44.4	27.8	0.0
②民生委員・児童委員協議会	262	83.2	21.8	11.5	33.6	47.3	8.4	5.7
③地区福祉委員会	18	77.8	11.1	5.6	27.8	33.3	22.2	0.0
④ボランティア連絡会	30	43.3	36.7	16.7	20.0	40.0	23.3	3.3

問 6_あなたの団体の活動財源について教えてください

単位：％

	合計（人）	メンバーから会費を徴収	団体の活動収入	市の助成	岸和田市社会福祉協議会の助成	その他の助成団体の寄付・助成	その他	不明・無回答
全体	328	25.3	22.3	35.1	47.0	12.2	15.5	11.6
①地区市民協議会	18	11.1	22.2	55.6	38.9	22.2	22.2	5.6
②民生委員・児童委員協議会	262	24.4	22.9	34.4	45.8	10.7	15.6	14.1
③地区福祉委員会	18	11.1	5.6	55.6	72.2	33.3	5.6	0.0
④ボランティア連絡会	30	50.0	26.7	16.7	46.7	6.7	16.7	0.0

問 7_あなたの団体が活動する上で困っていることがありますか

単位：％

	合計（人）	会員（仲間）が集まらない（人材不足）	若い人の入会が少ない（メンバーの高齢化）	世代や性別に偏りがある	役員のなり手がいない・後継者が育たない	メンバー間の意思疎通、合意形成がうまくいかない	仕事などが忙しく活動ができていない	自分たちの団体が主催するイベントや活動になかなか参加者が集まらない	活動の拠点確保が難しい（会議室・専用の事務所・備品の保管場所・イベント会場など）	機材や備品の調達がうまくいかない	活動費が足りない	市民活動に関する情報の収集をうまくできない	自分たちの活動の成果を発表する機会が少ない	自分たちの活動を知ってもらうための情報発信をうまくできない	他団体と連携・協力したいが、交流のきっかけがない	行政と協働したいがやり方が分からない	その他	不明・無回答
全体	328	26.2	47.3	11.6	45.4	2.7	11.3	7.6	3.0	0.6	8.2	4.9	2.1	9.5	3.0	2.4	6.1	8.8
①地区市民協議会	18	50.0	33.3	22.2	50.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	11.1	5.6	0.0	16.7	0.0	5.6	0.0	5.6
②民生委員・児童委員協議会	262	24.4	48.1	11.5	46.2	2.7	11.8	7.3	1.5	0.4	5.3	5.3	1.5	7.6	3.4	1.5	5.3	10.7
③地区福祉委員会	18	33.3	61.1	16.7	55.6	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	16.7	0.0	5.6	11.1	0.0	0.0	5.6	0.0
④ボランティア連絡会	30	23.3	40.0	3.3	30.0	3.3	13.3	13.3	16.7	3.3	26.7	3.3	6.7	20.0	3.3	10.0	16.7	0.0

問 8_地域で活動している中で、課題と感じていることがありますか

単位：％

	合計（人）	保健・福祉サービスについて住民に知られていない	高齢者世帯（ひとり暮らしや夫婦のみ等）やその他の支援を必要とする人の住所などの情報が得にくい	児童や高齢者などの虐待が疑われる家庭からいつても、どのように対応しているのかわからない	障害のある人に対する接し方など、知識や技術類や程度に応じた対応ができるよう、支援を身につけたい	大規模な風水害や地震の時の避難や安否確認など、防災対策に不安がある	地域で子どもが安全に遊べる場所が少ない	子どもの食生活が乱れている	障害のある人との交流の機会が少ない	障害のある人や高齢者が憩える場が少ない悩み事相談の場も少ない	地域コミュニティが希薄化している	支援をボランティアで行うかどうかの判断が難しい	他の団体やグループとの情報交換等交流する機会が乏しい	認知症等により判断能力に支障がある人への支援の場が少なく、啓発活動も不足	福祉教育・ボランティア学習の機会が少ない	その他	特になし	不明・無回答
全体	328	21.6	33.8	7.0	11.0	44.2	20.1	1.8	6.4	11.0	24.4	12.2	3.0	8.2	8.2	4.9	5.2	3.4
①地区市民協議会	18	27.8	22.2	16.7	11.1	50.0	27.8	0.0	16.7	22.2	16.7	5.6	0.0	16.7	0.0	0.0	5.6	0.0
②民生委員・児童委員協議会	262	21.0	38.5	6.9	10.3	44.3	21.4	1.5	6.1	9.2	25.6	13.7	3.4	7.6	6.9	5.0	3.4	4.2
③地区福祉委員会	18	22.2	27.8	0.0	11.1	66.7	11.1	0.0	5.6	16.7	22.2	5.6	5.6	11.1	16.7	0.0	0.0	0.0
④ボランティア連絡会	30	23.3	3.3	6.7	16.7	26.7	10.0	6.7	3.3	16.7	20.0	6.7	0.0	6.7	20.0	10.0	23.3	0.0

問 9_若い世代のボランティア活動を促進するために何が必要ですか

単位：％

	合計（人）	隣近所の住民同士の交流を 活発にする	幼い頃から地域で思いやりの心を 育む活動を活発にする	小・中学校でのボランティア活動を 活発にする	身近でできるボランティア活動を 具体的に紹介する	ボランティア団体の活動を 広報などで紹介する	ボランティア情報誌の発行回数・ 部数を増やす	若年・団塊世代向けの ボランティア講座を開催する	学校・企業の協力を得て 募集活動をする	身近な地域で個人の経験や知識、技術を発揮で きる活動の場を提供する	団体運営費用に対しての助成	活動の場へのコーディネート	その他	不明・無回答
全体	328	39.3	30.2	36.3	39.3	13.7	2.4	14.6	13.7	16.2	8.5	7.6	4.6	4.9
①地区市民協議会	18	44.4	44.4	50.0	22.2	0.0	5.6	27.8	22.2	5.6	16.7	5.6	0.0	0.0
②民生委員・児童委員協議会	262	41.6	28.6	36.3	38.9	13.7	2.3	13.7	12.6	16.8	6.9	7.6	4.2	6.1
③地区福祉委員会	18	50.0	33.3	27.8	55.6	16.7	5.6	22.2	16.7	16.7	5.6	5.6	0.0	0.0
④ボランティア連絡会	30	10.0	33.3	33.3	43.3	20.0	0.0	10.0	16.7	16.7	20.0	10.0	13.3	0.0